

赤ちゃん医学から生まれた

Aprica

ベビー&チャイルドシート・ベッド

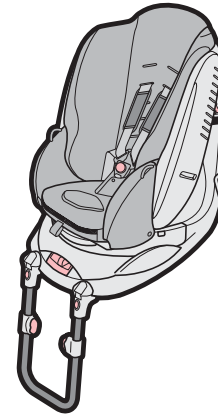
Bettino

(ベッティーノ)

<STD> <DX> <HIDX>

取扱説明書／保証書

体重**2.5kg以上18kg以下**のお子様用です。
本装置は、ECE規則No.16または他の同等の基準に基づいて認可された自動車3点式／リトラクター付きシートベルトを装備した車に限り使用できます。



このたびは、アプリーカ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用前に、本書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
取扱説明書に記載されている以外の方法で使用しないでください。
また、お読みになった後は、**本書を大切に保管してください。**

ECE-R44 / 04 (ヨーロッパ統一規則) 適合
準汎用型グループ0、グループI、2.5kg以上18kg以下。
ベースに貼られてある認証番号シールは、はがさないでください。

ご使用前に

ご使用上の注意

車に
取り付ける時は

お子さまを
乗せる前の準備

横向きベッドで
乗せる時は

後ろ向きで
乗せる時は

前向きで
乗せる時は

お手入れ
する時は

保証について

困った時には

ご使用前に	ご使用前の確認／各部の名称	3
	〈付属品〉 〈重要〉	4
	チャイルドシートについて／保護者の方へのアドバイス ／本書の表示について	5
	使用条件	6
	座席の条件〈座席の位置及び装備〉	7
	座席の条件〈座席の形状〉	8
	シートベルトの条件〈シートベルトの種類〉 シートベルトの条件〈シートベルトの位置〉	9 10
ご使用上の注意	危険／警告／緊急時のお子さまの降ろし方	11
	注意／禁止	12
	ラベルについて／ラベル類の貼付位置	13
車に取り付ける時は	レッグサポートの取り付け方	15
	チャイルドシートの取り付け方	16
	〈バックル用ベルトが長く、ベルトに“たるみ”が生じる場合〉	22
	取り付け後の確認 チャイルドシートの取り外し方	23 24
お子さまを乗せる前の準備	各ポジションにする前に	25
	肩ベルトの高さ調節／〈肩ベルトを取り外す〉	26
	〈肩ベルトの高さを選択する〉	27
	〈肩ベルトを取り付ける〉	28
	タンク・バックルの使い方	30
	パッド類の使い方	31
	〈腰パッド〉	32
	〈ヘッドプロテクター〉	33
	〈ドーナツピロー〉〈DX・HIDXのみ〉	34
〈フットプロテクター〉〈HIDXのみ〉	35	
横向きベッドで乗せる時は	危険／警告／注意	36
	横向きベッドにする	37
	お子さまの乗せ方	39
	横向きベッド使用時の確認	42
	〈シートバックサポートを収納する時〉	43

後ろ向きで乗せる時は	危険／注意／お子さまの乗せ方	44
	後ろ向きにする 後ろ向き使用時の確認 〈シートバックサポートを収納する時〉	47 49 50
前向きで乗せる時は	前向きにする	51
	お子さまの乗せ方 前向き使用時の確認	52 56
お手入れする時は	シートカバーの取り外し方	57
	クッションの取り外し方	59
	クッションの取り付け方	60
	シートカバーの取り付け方	61
	シートカバーの洗濯／樹脂部分のお手入れ ／保管する時は／廃棄する時は	63
保証について	保証期間とアフターサービス ／アフターサービスについての連絡先	64
	困った時には	65
困った時には	〈ご使用前に困った時〉〈車への取り付けで困った時〉	65
	〈お子さまの乗せ方で困った時〉〈中古品のご使用について〉	66
取り付け可能車種一覧表		67
製品の仕様		69
保証書		裏表紙

ご使用前に

ご使用前の確認

- ・製品を箱から取り出した後に、部品及び付属品が揃っているか、破損などが無いかを確認してください。
- ・欠品や破損など、ご確認された場合は使用を中止し、お買い上げの販売店または当社お客様サポートセンターまでご連絡ください。
- ・本書に使用しているイラストは、操作方法や仕組みなどを分かり易くするため、現物とは若干異なる場合があります。

〈付属品〉



ベルトクリップ



取扱説明DVD



お客様登録カード

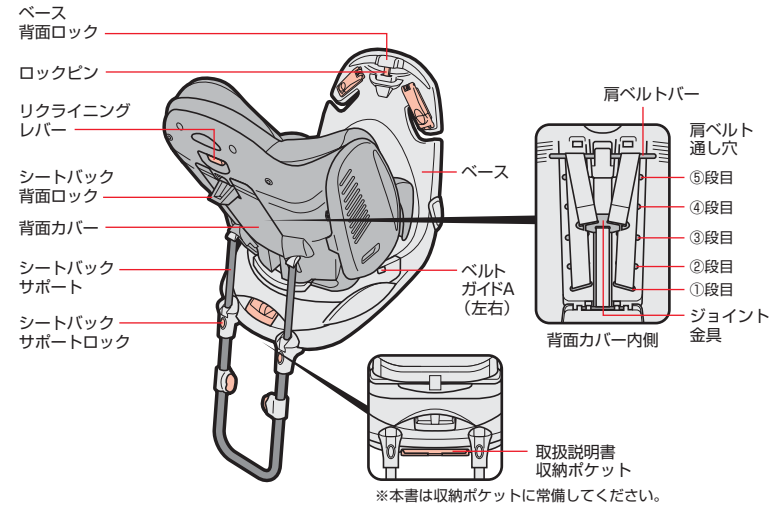
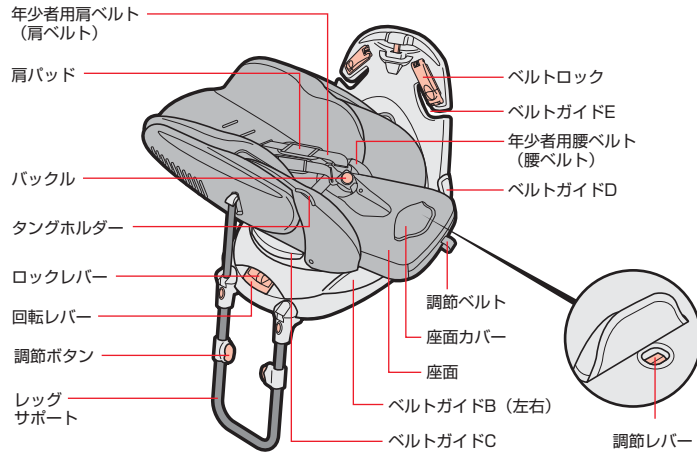


取扱説明書(本書)

〈重要〉

- ・お客様登録カードは、当社よりリコールや自主回収などチャイルドシートに係わる重要な情報を連絡する際に必要となります。お買い上げ日より1カ月以内に投函してください。

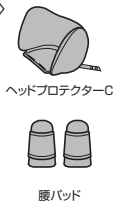
各部の名称



〈プロテクター・パッド類〉

・箱から取り出した状態では、本体にセットされております。

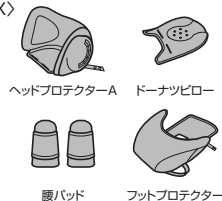
〈STD〉



〈DX〉

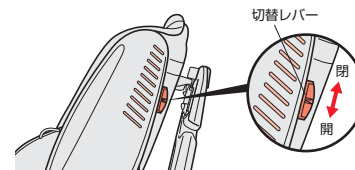


〈HIDX〉



〈ベンチレーションの使用方法〉

〈DX・HIDX〉



- ・切替レバーを操作することで通気口が開閉します。

チャイルドシートについて





- ・チャイルドシートはシートベルトで自動車の座席に固定して使用します。これにより、自動車事故などの際に、お子さまの傷害を軽減します。ただし、必ずしも事故からお子さまを無傷で守るものではありません。
- ・日本国内及び、ECE 規則を批准している国での使用は可能です。保証については日本国内においてのみ有効です。

保護者の方へのアドバイス

- ・お子さまをはじめて車に乗せる時から、チャイルドシートの使用を習慣にしてください。
- ・どうしても長距離を走る場合は、こまめに休憩をとり、お子さまをシートから降ろしてあげてください。また、発進段階にあった姿勢をとってあげることも大切です。

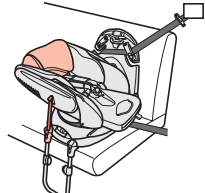

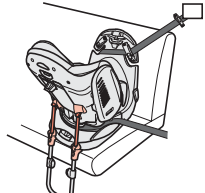


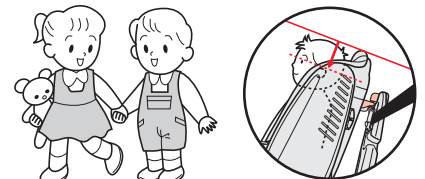
本書の表示について

- ・「危険」、「警告」、「注意」、「禁止」の表示は、これらの注意事項が守られなかった場合に予想される、危害・損害の切迫度の大きさにより区分したものです。大変重要な内容ですので、必ずお守りください。

表示	表示の内容
 危険	誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定されます。
 警告	誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定されます。
 注意	誤った取り扱いをすると、使用者が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定されます。
 禁止	製品の取扱いの禁止の行為です。絶対してはいけません。

使用条件

- ・下記の条件を満たさないお子さまには**絶対使用しないでください**。
この条件を満たさないお子さまには事故時のダメージを軽減する効果がありません。
- ・お子さまの成長に合わせて、3通りの使い方があります。

横向きベッド使用 ・ヘッドプロテクターを使用すること。 ・シートバックサポートを使用すること。 	体 重…2.5kg以上9kg未満 
後ろ向き使用 ・シートバックサポートを使用すること。 	体 重…7kg以上10kg未満 ・ 首と腰が安定し、一人ずわりができること。 
前向き使用 ・背面ロックが掛かっていること。 	体 重…9kg以上18kg以下 ・ お子さまを座らせた時、耳の上端部が本体の上端部より下になること。 

座席の条件〈座席の位置及び装備〉

〈お奨めする取り付け座席の位置〉

- ・お子さまの安全性を高めるために、運転席より後ろの列の座席に取り付けることをおすすめいたします。


〈フロントエアバッグが装備された助手席〉

- ・取り付けできません。

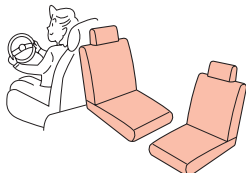
〈サイドエアバッグが装備された座席に取り付ける場合の注意〉

- ・車の取扱説明書に従って取り付けてください。
- ・自動車メーカーのお客室相談室にお問い合わせください。

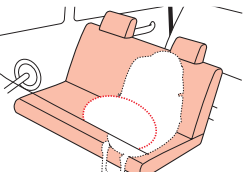
〈イラストのマークについて〉

 は、してはいけない行為を示しています。

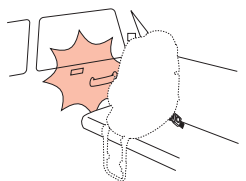
〈以下の座席では使用しないでください。〉



- ・車の取り扱い説明書に従って取り付けてください。進行方向に対して横向き及び後ろ向きの座席。



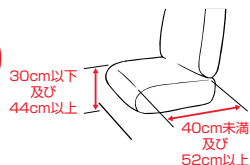
- ・フロントエアバッグが装備された助手席。



- ・ドアなどに本品が接触して、正しく取り付けできない座席。

座席の条件〈座席の形状〉

〈以下の座席では使用しないでください。〉



- ・奥行きが **40cm 未満** 及び **52cm 以上** の座席。(補助座席、幼児専用座席)
- ・座面から床までの高さが **30cm 以下** 及び **44cm 以上** の座席。



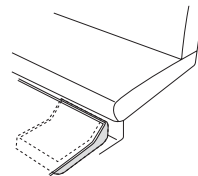
- ・座席のフラット面が狭く **38cm 未満** の座席。
(市販座席に取り替えられた車両、スポーツ車、レース車、補助座席、幼児専用座席など)



- ・凹形にくぼんだ座席で、バックル位置が座面より **15cm 以上** 高くなる座席。
(チャイルドシートが落ち込むため安定しません。)



- ・凹形にくぼんだ座席で、チャイルドシートが安定しない座席。
(市販座席に取り替えられた車両、スポーツ車、レース車など)



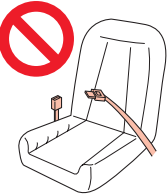


- ・車のフロアに、ヒューズボックス、収納型シート、コンソールボックス、スペアタイヤの収納スペースなどがある座席。

シートベルトの条件〈シートベルトの種類〉

- 本装置は、ECE 規則 No. 16 または他の同等の基準に基づいて認可された自動車 3 点式/リトラクター付きシートベルトを装備した車に限り使用できます。

シートベルトの種類	特徴	取り付け上の注意点
ELR (緊急ロック式巻取装置) 付シートベルト	通常はシートベルトが肩側の取り付け部から自由に出し入れでき、急ブレーキや衝突などの時だけロックされる。	シートベルトをゆるやかに引き出し使用すること。
A-ELR (チャイルドシート固定機構) 付シートベルト	ベルトをすべて引き出すと、入る方向にしか動かなくなる機構の ELR 付き。	シートベルトをすべてもどすと、チャイルドシート固定機構が解除されません。
ALR (自動ロック式巻取装置) 付シートベルト	ベルトを引き出す途中で手を止めると、自動ロックされる巻取装置付き。	シートベルトをすべてもどすと、シートベルトロックが解除されません。
NLR (非ロック式巻取装置) 付シートベルト	ベルトをすべて引き出してから長さを調節する。	シートベルトをすべて引き出した状態から、長さを調節して使用すること。
手動調節式 シートベルト	巻取装置が付いていない。	長さを調節して使用すること。

〈以下のシートベルトでは使用しないでください。〉

	・ 2 点式シートベルトの座席。		・ シートベルトの取り付け部が上下共巻き取り式の座席。
	・ パッシブシートベルトの座席。 (座席に座ってドアを閉めると自動的にシートベルトが装着される座席)		・ 市販のスポーツタイプのシートベルトが装備されている座席。



・ プリテンショナー付シートベルト作動後は、チャイルドシートを取り付けない。

※プリテンショナー付シートベルト：強い衝撃を前面から受けた時にシートベルトを引き込みます。

シートベルトの条件〈シートベルトの位置〉

〈以下の 3 点式シートベルトでは使用しないでください。〉

	・ 車のシートベルトの取り付け幅が、 33cm 未満 の座席。
	・ バックル側のベルトが樹脂製などで固く、バックル位置が高い座席。(RV 車に多い) ・ 座面より 15cm 以上 高いと、チャイルドシートのベルト固定ガイドに干渉し、チャイルドシートが固定できません。
	・ シートベルトの取り付け位置が高い座席。 座面より 15cm 以上 の座席。(2 ドア車に多い)
	・ 車のシートベルトのバックル、及び腰シートベルトの取り付け位置が前方によっている座席。 ・ 背もたれより 10cm 以上 前方で、シートリクライニング機構のない座席。
	・ シートベルトの長さ (A + B + C) が 190cm 以下 の座席。

ご使用上の注意



危険 誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が
切迫して生じることが想定される内容です。

- ・いかなる場合にも、フロントエアバッグ装備車の助手席には本製品を取り付けない。
- ・チャイルドシートが確実に固定できない座席では使用しない。
- ・チャイルドシートの固定が不完全でシートベルトに“ゆるみ”がある場合は使用しない。
- ・シートベルトに損傷がある座席には取り付けない。
- ・補助座席、幼児専用座席には使用しない。
- ・レッグサポートを取り外して使用しない。
- ・レッグサポートが車のフロアに接しない状態、及び物をはさんで使用しない。
- ・チャイルドシートのバックルを解除した状態で使用しない。
- ・お子さまが立ったり、中腰、正座をした状態では使用しない。
- ・横向き取り付け時はベッド以外で使用しない。
- ・横向きベッド使用時、シートバックサポートを収納した状態で使用しない。
- ・調節ベルトは、お子さまの体に合わせて調節すること。緩みやねじれがないこと。
- ・後ろ向き使用時、シートバックサポートを収納した状態で使用しない。
- ・前向き使用時、背面ロックが掛かっていない状態で使用しない。
- ・チャイルドシートを本書及び、本体表示ラベルの説明以外の方法で取り付けない。



警告 誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性
が想定される内容です。

- ・チャイルドシート使用時は、お子さまを一人で車内に残さない。
- ・肩ベルト、腰ベルトは、ねじれたり、緩んだ状態で使用しない。また、腰ベルトは骨盤上以外で着用しない。
- ・同時に二人以上で使用しない。
- ・緊急時の脱出の妨げになる座席にはチャイルドシートを取り付けない。
- ・チャイルドシートの底面の一部分にクッション、座布団などを敷かない。
- ・肩ベルトや股ベルトに損傷、亀裂、焦げなどがある場合は使用しない。
- ・肩ベルトは、お子さまの肩以外の位置で使用しない。
- ・車の走行中にベルト調節、リクライニングや回転などの操作を行わない。
- ・チャイルドシートを使用中、お子さまにバックルの解除ボタンを触らせない。
- ・車のヘッドレストを外さずにチャイルドシートを取り付けない。
車のヘッドレストとチャイルドシートの背もたれが干渉し、衝突などの緊急時に、十分な性能を発揮できないおそれがあります。
- ・お子さまを拘束したままリクライニングを起こさない。
- ・お子さまの耳の上端部が本体の上端部より上に出ないこと。
- ・本製品を横向きベッドで使用する時は、車の進行方向に対して直角に使用すること。



注意 誤った取り扱いをすると、使用者が傷害を負ったり、物的損害が
生じる可能性が想定される内容です。

- ・チャイルドシートを直射日光にさらさない。
金属部分などが熱くなり、やけどのおそれがあります。
- ・可動式シートまたは、車のドアにチャイルドシートの剛性部分（プラスチック部分など）を挟まない。
- ・シートベルトで固定していないチャイルドシートを車内に置かない。また、衝突の際に傷害の原因になるおそれのある荷物などは車内に置かない。
- ・チャイルドシートがシフトレバーやパーキングブレーキなどの操作に支障をきたす座席には取り付けない。
- ・車の座席が革仕様の場合には、直接取り付けない。（別売の保護マットを使用する。）
- ・火などの近くに放置したり、長時間屋外に放置しない。
- ・シートベルトで固定せずに、通常の椅子として使用しない。
- ・お子さまが乗っていない場合でも、チャイルドシートのタングはバックルから外しておかない。
- ・チャイルドシートの操作時、お子さまを周りに近づけない。
可動部でお子さまの指や手足を挟んだり、身体にぶつかるとしてけがをさせるおそれがあります。
- ・お子さまにチャイルドシートの取り付けや、操作をさせない。
- ・チャイルドシートに重量物を載せない。
- ・バックルに水やジュース、泥水、ゴミなどが入った場合は使用しない。



禁止 製品の取扱いの禁止の行為です。絶対してはいけない内容です。

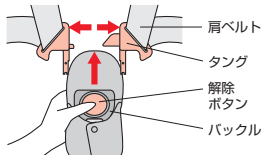
- ・事故や落下、放り投げなどによる強い衝撃が加わった後は使用しない。
- ・本製品を分解、改造、及び指定部品以外の交換はしない。
- ・シートカバーやクッション材を外したり、他のものと交換したり、破れた状態で使用しない。
- ・お子さまの遊び道具として使用させない。
- ・保護者、介添者などが椅子など腰掛けとして使用しない。
- ・本体の洗浄にはシンナーなどの溶剤を使用しない。

・本製品の取り付けや取り扱いに関する不明点がありましたら、
当社お客様サポートセンターまたはお買い上げ店舗にご相談ください。

緊急時のお子さまの降ろし方

緊急の時はあわてずに…

- ①バックルの解除ボタンを押し、タングを外す。
- ②肩ベルトをお子さまから外す。
- ③お子さまをチャイルドシートから降ろす。
- ④安全な場所へ避難する。



バックルからタングが抜けない時は…

- チャイルドシートの肩ベルトをシートベルトカッター（市販品）などで切り、お子さまを降ろす。

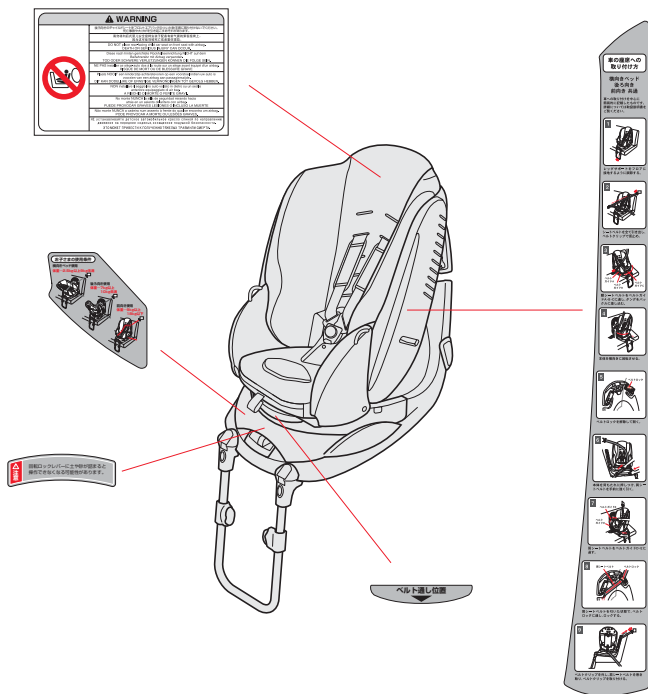


ラベルについて

- ・製品には、使用上の注意を記載したラベルを貼付しています。ラベルをお読みいただき内容を必ず守ってください。
- ・ラベル類は汚したり、はがしたりしないでください。

- ・ラベル類が読めなくなった場合は、製品名、品番をご確認の上、お買い上げの販売店または当社お客様サポートセンターまでご連絡ください。

ラベル類の貼付位置



座席のシートベルトの種類と取り付け上の注意

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

安全 注意

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

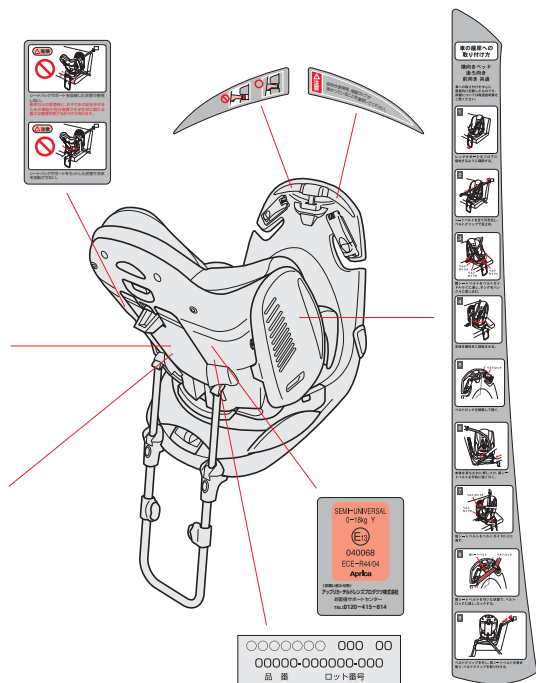
① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

(背面カバー内側)

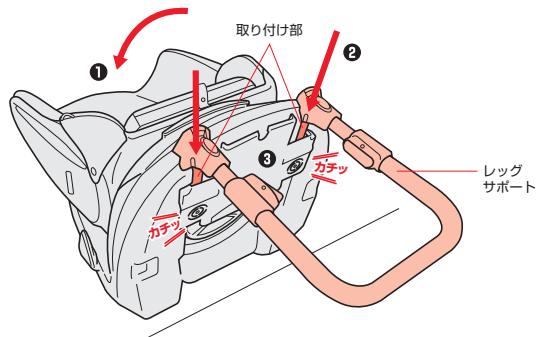


車に取り付ける時は

レッグサポートの取り付け方

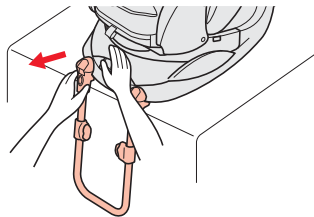
- ⚠危険** ・レッグサポートを取り外した状態で使用しない。
十分な性能が発揮されず、生命に関わる重大な傷害を受けるおそれがあります。

- 1 レッグサポート取り付け部が見えるように本体を後方に倒す。
- 2 レッグサポートを取り付け部に差し込み、
- 3 「カチッ」と音がするまで押し込み固定する。



- ⚠注意** ・レッグサポートを差し込む時に、手、指などを挟まないように注意してください。

⚠注意



- ・レッグサポートを手前に引き、確実に固定されていることを確認する。

チャイルドシートの取り付け方

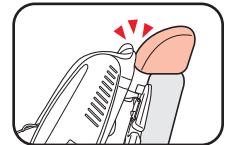
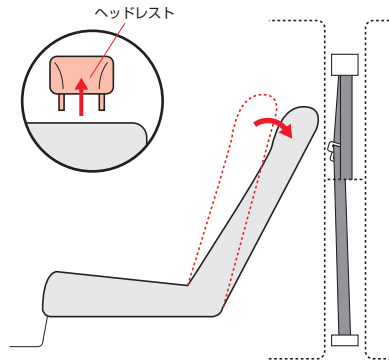
- ※本書では、左後部座席に取り付ける場合を例として説明しています。
- 車の座席形状やシートベルトの種類により、取り付け出来ない場合があります。詳しくはP7～P10を参照してください。
 - 取り付け座席の前席リクライニングを起こし、前へスライドさせることで車内の作業スペースが確保され、取り付けやすくなります。

1

〈可能な車の場合のみ〉

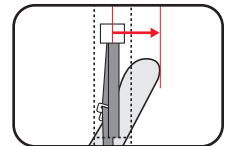
- ・ヘッドレストを取り外す。
- ・背もたれを少し後方へ倒す。

- ⚠注意** ・取り外したヘッドレストをトランクルームやカーゴルームに保管すること。



⚠警告

- ・ヘッドレストを外さずに取り付けるとヘッドレストと背もたれが干渉するおそれがあります。
衝突などの緊急時に、充分な性能を発揮できないおそれがあります。

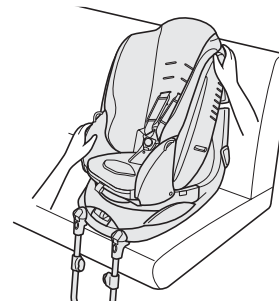


⚠警告

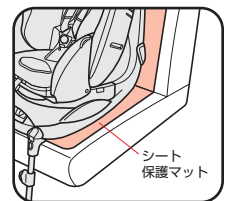
- ・車の座席がスライドできる場合は、座席の背もたれの上部がシートベルトの上部取り付け位置より後方にしない。
衝突などの緊急時に、充分な性能を発揮できないおそれがあります。

2

- 本体を前向きにのせる。



⚠注意

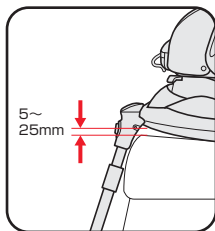
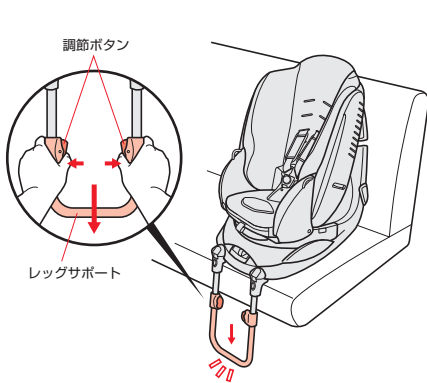


- ・車の座席が革仕様の場合には直接のせない。(別売のシート保護マットをご使用ください。)
座席の革を痛めるおそれがあります。

車に取り付ける時は

3

- 左右の調節ボタンを押し、レッグサポートを車のフロアに接するように調整する。



注意

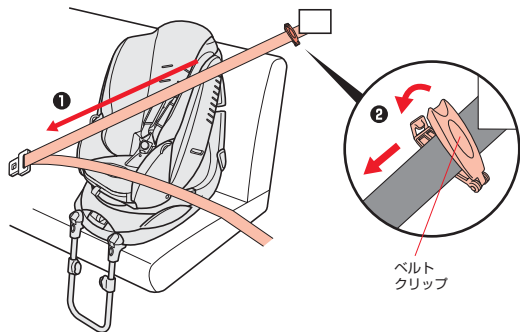
- ・座席から若干（5～25mm程度）浮かせて取り付けてください。

注意

- ・レッグサポートは左右同じ高さに調節する。

4

- ①シートベルトを全て引き出す。
- ②ベルトクリップで仮止めする。



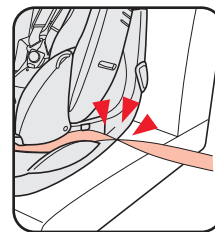
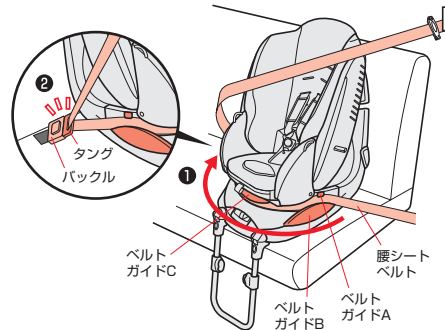
ベルトクリップ

注意

- ・A-ELR（チャイルドロック機構付き）シートベルトの場合は、ロックが掛かるとシートベルトを引き出せなくなります。（P9参照）

5

- ①腰シートベルトをベルトガイドA、B、Cの内側の溝に通す。
- ②シートベルトのタンクをバックルに差し込む。

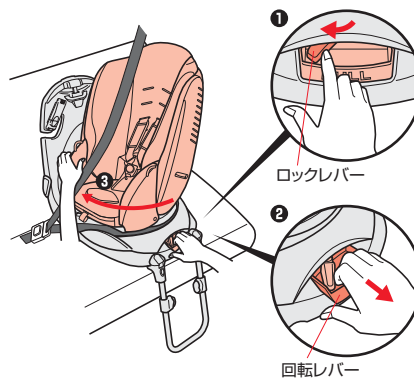


注意

- ・腰シートベルトにねじれがないこと。

6

- ①ロックレバーを解除し、
- ②回転レバーを引き、
- ③横向きに回転させる。

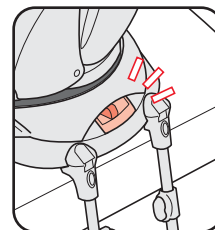


注意

- ・回転後、ロックレバー、回転レバーが戻り、本体が固定されていること。

注意

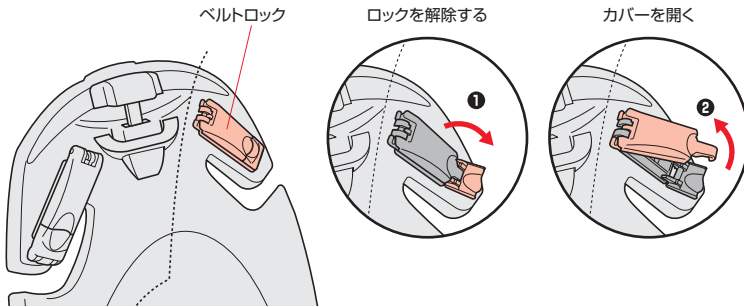
- ・本体を回転させる時に、手、指などを挟まないように注意してください。



車に取り付ける時は

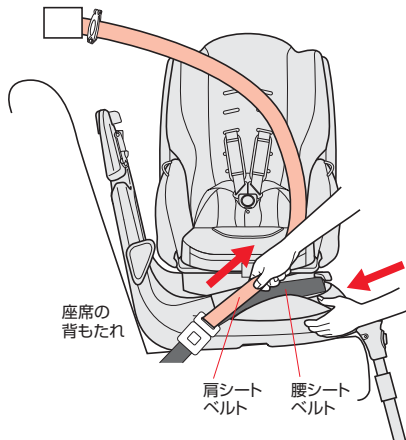
7

- ①バックルと逆側のベルトロックを解除し、
- ②カバーを開く。



8

- 本体を座席の背もたれに押しつけ、肩シートベルトを手前に強く引く。

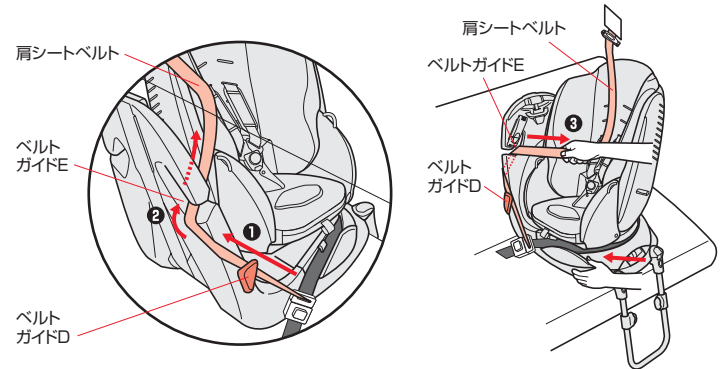


△注意

・腰シートベルトにたるみがないこと。

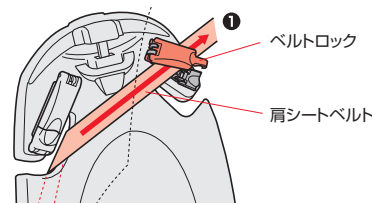
9

- ①肩シートベルトをベルトガイドDの内側を通し、
- ②ベース背面からベルトガイドEに通す。
- ③肩シートベルトを引いた状態で、ベースを奥に押し込む。



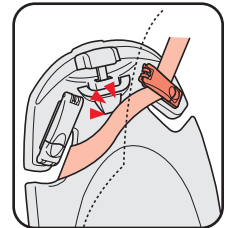
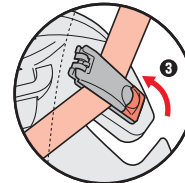
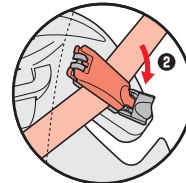
10

- ①肩シートベルトを引いた状態で、ベルトロックに通し、
- ②カバーを閉じ、
- ③ロックする。



カバーを閉じる

ロックする



△警告

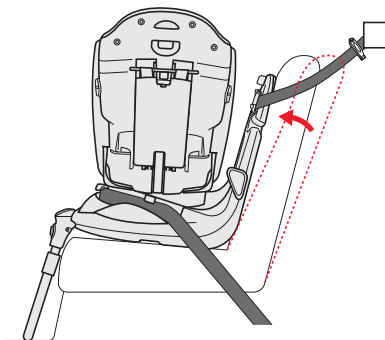
・肩シートベルトがたるんだ状態で使用しない。
衝突などの緊急時に、充分な性能を発揮できないおそれがあります。

車に取り付ける時は

11

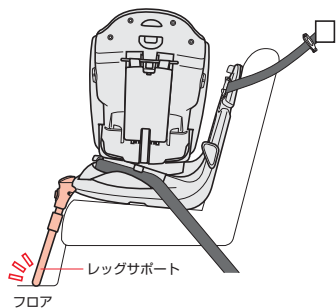
＜可能な車の場合のみ＞

- P16 1 で取り付け時に倒した座席の背もたれを本体に強く当たるまで起こす。

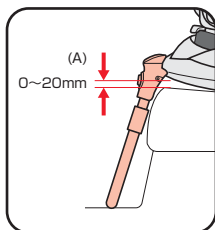


12

- レッグサポートが車のフロアに接していることを確認する。



(A) : チャイルドシートと座席とのすき間

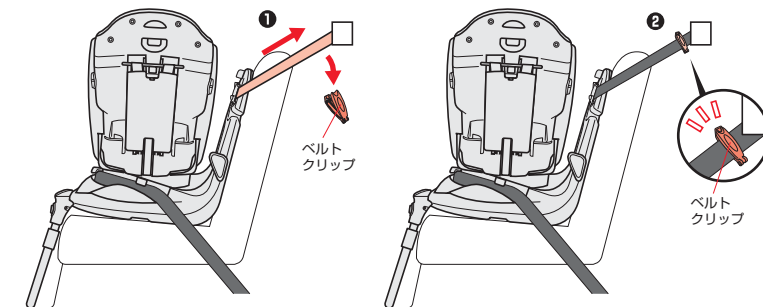


注意

- ・ (A)のスキ間が0～20mm未満であること。
20mm以上の時は、レッグサポートを1段縮める。

13

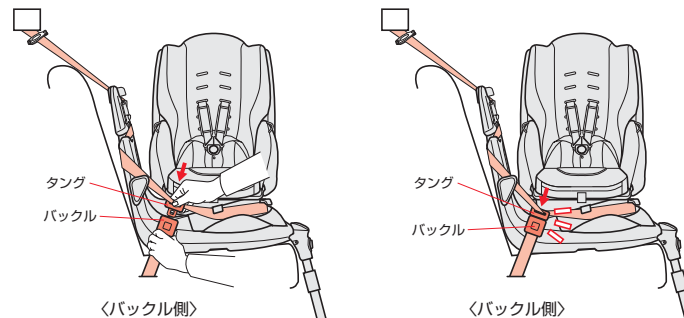
- 1 P17 4 で仮止めたベルトクリップを外し、余分な肩シートベルトを巻き取る。
- 2 再度ベルトクリップを取り付ける。



・必ず取り付け後の確認を行ってください。(P23 参照)

＜バックル用ベルトが長く、ベルトに“たるみ”が生じる場合＞

- P18 5 <2シートベルトのタングをバックルに差し込む。> と、P19 8 <肩シートベルトを手前に強く引く。> を除いて取り付け、最後にタングをバックルに差し込みます。



- ・ しっかり固定できない場合は、当社お客様サポートセンターまでご連絡ください。(P64 参照)

車に取り付ける時は

取り付け後の確認

△注意 ・お子さまを乗せる前に、しっかり固定されていることを必ず確認する。

・最後に、しっかり固定されているか、次の項目を確認してください。

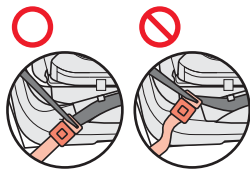
☑確認

車のシートベルトに緩み、たるみがない。
(シブは問題ありません。)

車のシートベルトがベルトガイドA・B・C・D・Eを通り、ベルトロックで固定している。

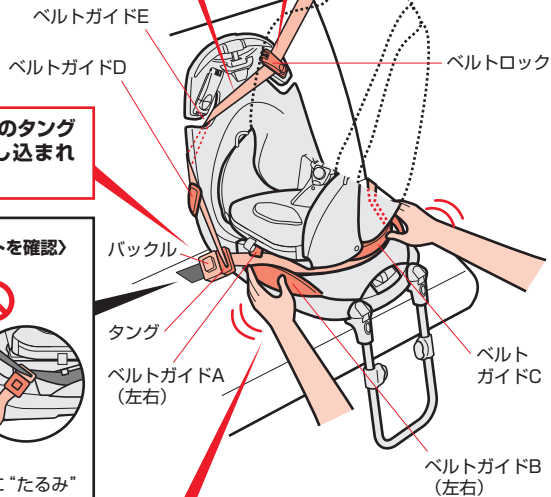
車のシートベルトのタングがバックルに差し込まれている。

〈バックルのベルトを確認〉



・バックルのベルトに“たるみ”がある場合は、P22〈バックル用ベルトが長く、ベルトに“たるみ”が生じる場合〉を参照してください。

ベース部分を両手で持ち、前後左右に動かしても安定している。



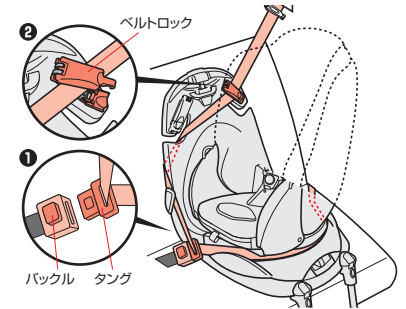
・全て確認し、しっかり固定できていない場合は、もう一度P16～P22の手順で取り付け直してください。

チャイルドシートの取り外し方

△注意 ・チャイルドシートを車から取り外す時はベルトクリップを最後に外す。
A-ELR (チャイルドシート固定機構) 付シートベルトの場合は取り外し作業中にベルトクリップを外すと、緩んだシートベルトが全て巻き取られて取り外しにくくなります。

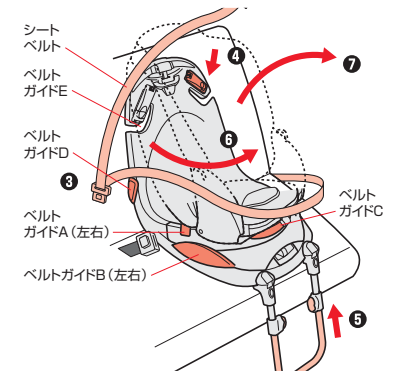
1 車のシートベルトを外す

- ①車のシートベルトのバックルを解除し、タングを外す。
- ②ベルトロックを解除し、カバーを開く。



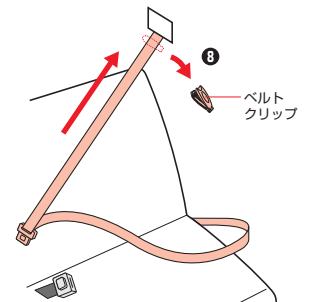
2 チャイルドシートを降ろす

- ③車のシートベルトをベルトガイドE～Aから外す。
- ④ベルトロックを閉じる。
- ⑤レッグサポートを縮める。
- ⑥本体を前向きにする。
- ⑦チャイルドシートを車の座席から降ろす。



3 ベルトクリップを外す

- ⑧ベルトクリップを外し、車のシートベルトを巻き取る。
- ⑨外したベルトクリップは、チャイルドシートと共に大切に保管してください。

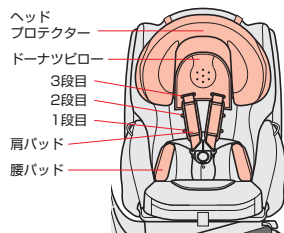


お子さまを乗せる前の準備

各ポジションにする前に

- ・各ポジションにより、肩ベルトの高さ、パッド類の取り付けなど仕様が異なります。
- ・お子さまの体格に合わせて、肩ベルトの高さ調節、パッド類の取り付け、取り外しを行ってください。
- ・パッド類の取り付け、取り外し方法は P31 ~ P35 を参照してください。

〈横向きベッドで使用する時〉



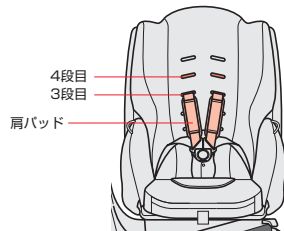
■肩ベルトの位置

・参考身長は目安です。お子さまの肩の高さに合わせて調節してください。

体 重	参考身長	肩ベルト通し穴位置
2.5kg以上 9kg未満	50cm位	1段目
	60cm位	2段目
	70cm位	3段目

〈P26 肩ベルトの高さ調節 参照〉

〈後ろ向きで使用する時〉



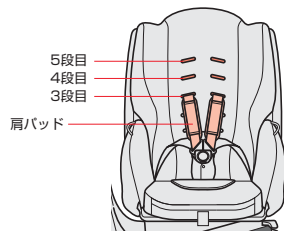
■肩ベルトの位置

・参考身長は目安です。お子さまの肩の高さに合わせて調節してください。

体 重	参考身長	肩ベルト通し穴位置
7kg以上 10kg未満	70cm位	3段目
	80cm位	4段目

〈P26 肩ベルトの高さ調節 参照〉

〈前向きで使用する時〉



■肩ベルトの位置

・参考身長は目安です。お子さまの肩の高さに合わせて調節してください。

体 重	参考身長	肩ベルト通し穴位置
9kg以上 18kg以下	70cm位	3段目
	80cm位	4段目
	100cm位	5段目

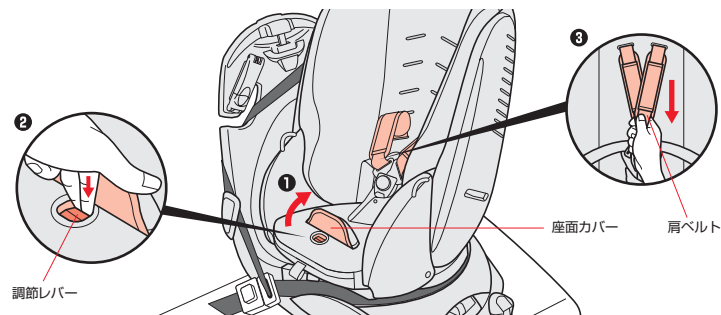
〈P26 肩ベルトの高さ調節 参照〉

肩ベルトの高さ調節

〈肩ベルトを取り外す〉

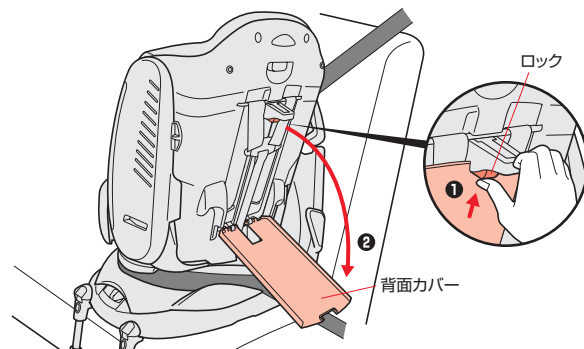
1 肩ベルトをゆるめる

- ①座面カバーをめくり、
- ②調節レバーを押しながら、
- ③肩ベルトを引いて緩める。



2 背面カバーを開く

- ①背面カバーのロックを解除し、
- ②背面カバーを開く。

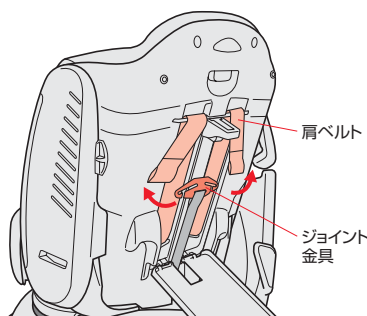


注意 ・背面カバーを開いた状態で本体を回転させない。

お子さまを乗せる前の準備

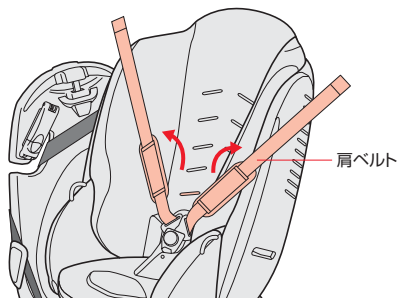
3 肩ベルトを取り外す

- 左右の肩ベルトをジョイント金具から取り外す。



4 肩ベルトを引き抜く

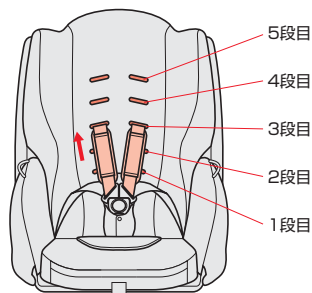
- 背もたれから引き抜く。



〈肩ベルトの高さを選択する〉

5 肩ベルトを通し穴に通す

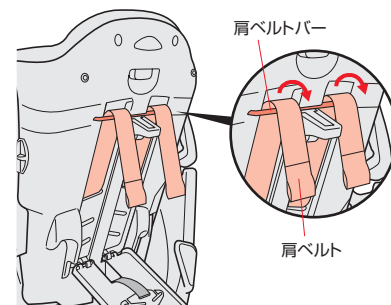
- お子さまの体格に合った肩ベルト高さを選擇する。(P25 参照)



〈肩ベルトを取り付ける〉

6 肩ベルトを肩ベルトバーに通す

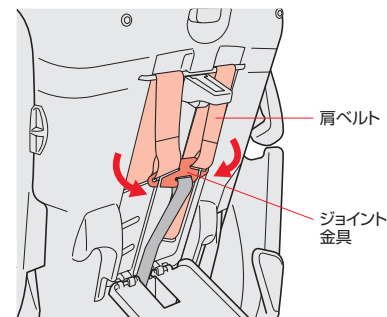
- 左右の肩ベルトを肩ベルトバーに通す。



- ⚠ **注意** ・肩ベルトは肩ベルトの高さに関係なく、必ず肩ベルトバーを通す。

7 肩ベルトをとめる

- ジョイント金具にとめる。



- ⚠ **注意**

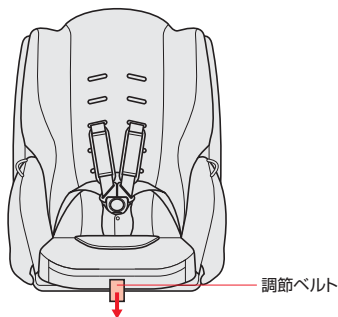
- ①肩ベルトが、必ず肩ベルトバーに通っていること。
- ②肩ベルトがねじれていないこと。
- ③調節ベルトがねじれていないこと。



お子さまを乗せる前の準備

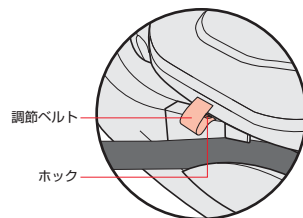
8 肩ベルトのたるみをとる

- 調節ベルトを引く。



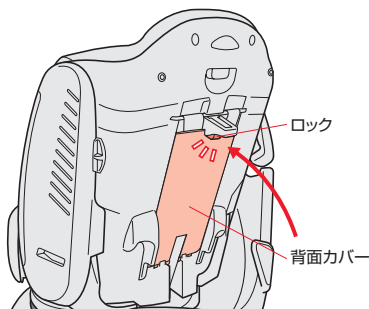
注意

- ・調節ベルトのホックが座面裏側のホックにとまっていること。
- ・外れている時は、ホックをとめてください。外れた状態で本体を回転させると調節ベルトが巻き込まれるおそれがあります。



9 背面カバーを閉じる

- 背面カバーを閉じる。



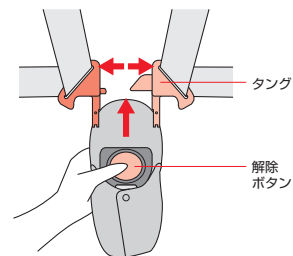
確認

- ・背面カバーが確実にロックされていること。

タング・バックルの使い方

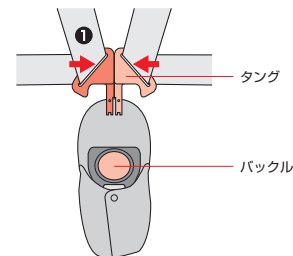
〈取り外し方〉

- バックルの解除ボタンを押す。

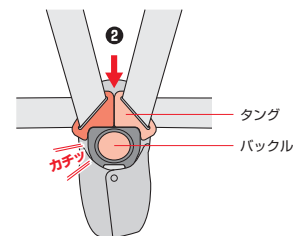


〈取り付け方〉

- ①左右のタングを組み合わせ、



- ②「カチッ」とバックルに固定されるまで差し込む。



注意

- ・左右のタングを確実に組み合わせないとバックルに差し込む事ができません。
- ・タングをバックルに差し込む時は、指や手を挟まないよう注意してください。

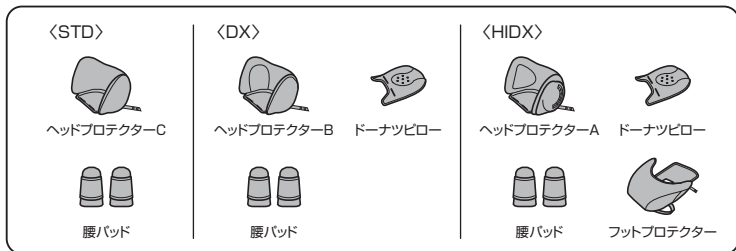
確認

- ・タングは「カチッ」という音が確認できるまでしっかり差し込む。

お子さまを乗せる前の準備

パッド類の使い方

- ・横向きベッド時に使用します。肩パッド以外は後ろ向き、前向き時は使用しないでください。
- ・お子さまの発育状況により下記の表を参考に使用してください。



<STD>

取付方法／発育状況	ヘッドプロテクターC	腰パッド
横向き	必要	必要
首が安定してから	必要	必要
腰が安定してから	必要	取り外し可
後ろ向き・前向き	使用不可	使用不可

<DX>

取付方法／発育状況	ヘッドプロテクターB	ドーナツピロー	腰パッド
横向き	必要	取り外し可	必要
首が安定してから	必要	取り外し可	必要
腰が安定してから	必要	取り外し可	取り外し可
後ろ向き・前向き	使用不可	使用不可	使用不可

<HIDX>

取付方法／発育状況	ヘッドプロテクターA	ドーナツピロー	腰パッド
横向き	必要	取り外し可	必要
首が安定してから	必要	取り外し可	必要
腰が安定してから	必要	取り外し可	取り外し可
後ろ向き・前向き	使用不可	使用不可	使用不可

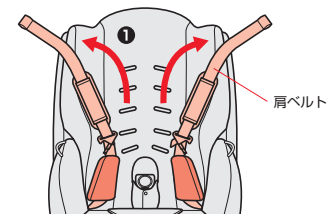
※フットプロテクター：車内温度及び、お子さまの状態を取り付け、取り外しの判断をしてください。

警告 ・肩パッドを取り外した状態で使用しない。
衝突などの緊急時に、十分な性能を発揮できないおそれがあります。

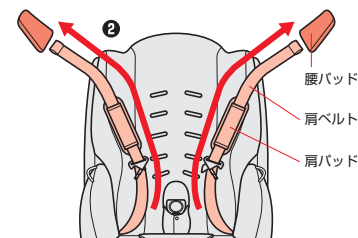
<腰パッド>

<取り外し方>

①肩ベルトを取り外す。(P26 参照)



②腰パッドを肩ベルトから抜き取る。



注意 ・腰パッドを外す時に肩パッドを外さない。外れた場合は必ず取り付け直してください。

確認

<腰パッド>

・腰パッドを取り付ける時は、腰パッドの表裏を確認する。



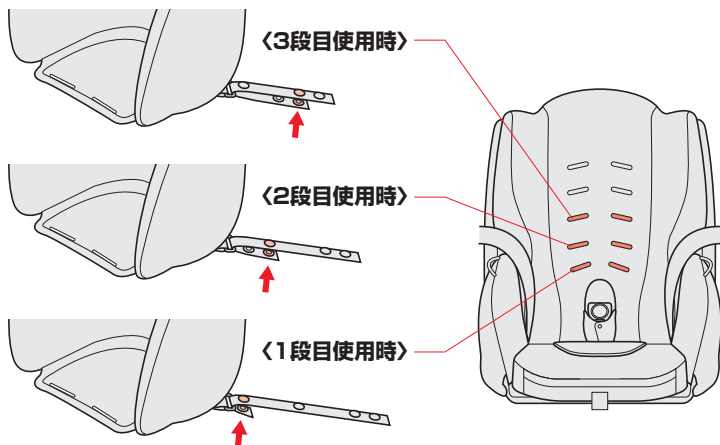
お子さまに接する面

お子さまを乗せる前の準備

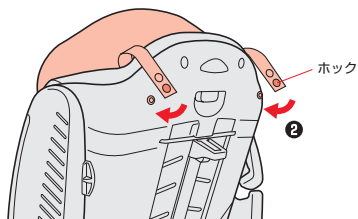
〈ヘッドプロテクター〉

〈取り付け方〉

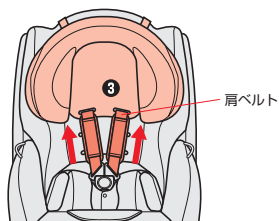
①左右のベルトの長さを肩ベルトの高さに合わせて調節し、ホックをとめる。



②左右のホックを背もたれ背面にとめる。



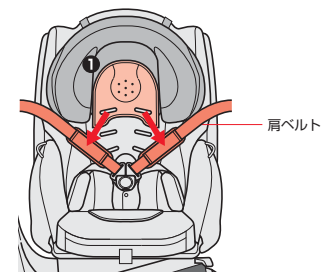
③肩ベルトを通し穴に通す。



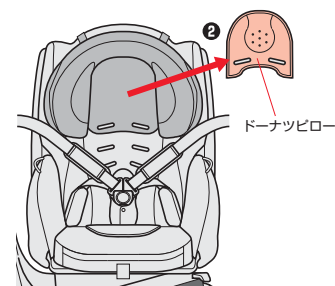
〈ドーナツピロー〉〈DX・HIDXのみ〉

〈取り外し方〉

①肩ベルトを取り外す。(P26 参照)



②ドーナツピローを取り外す。



△ 注意 ・ヘッドプロテクター、ドーナツピローは、肩ベルトの高さに合わせて取り付ける。

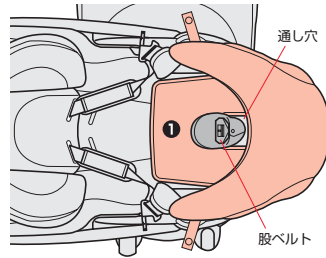
お子さまを乗せる前の準備

〈フットプロテクター〉〈HIDXのみ〉……………

・フットプロテクターは、車内温度及びお子さまの状態できり付け、きり外しの判断をしてください。

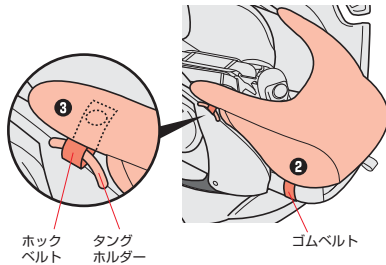
〈きり付け方〉

①股ベルトを通し穴に通す。



②座面下にゴムベルトを取り付ける。

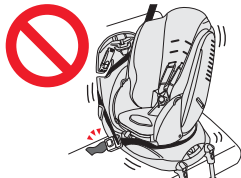
③ホックベルトをタンクホルダーに通し、ホックをとめる。(左右)



注意 ・フットプロテクターを装着した状態で、リクライニングを起こさない。座面が引き込まれ、ゴムベルトが外れる場合があります。

危険

・チャイルドシートの固定が不完全でシートベルトに“ゆるみ”がある場合は使用しない。チャイルドシートをご使用になる前には必ず固定する座席ベルトに緩みがないかを確認する。



横向きベッドで乗せる時は

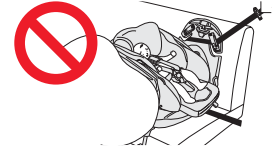
〈体重：2.5kg以上9kg未満〉

〈肩ベルト通し穴位置1・2・3段目を使用します。〉

危険

・助手席で使用しない。
・SRSエアバッグが装備された座席で使用しない。

衝突などの緊急時に、エアバッグの作動により重大な傷害を受けるおそれがあります。

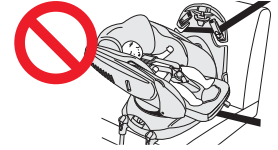


・横向ききり付け時は、ベッド以外で使用しない。充分な性能が発揮されず、生命に関わる重大な傷害を受けるおそれがあります。



・シートバックサポートを収納した状態で使用しない。

充分な性能が発揮されず、生命に関わる重大な傷害を受けるおそれがあります。



警告

・お子さまを拘束したままリクライニングを起こさない。

肩ベルトが締めまり、お子さまを圧迫するおそれがあります。



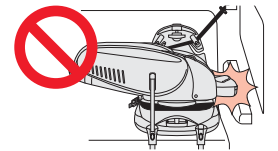
・本製品を横向きベッドで使用する時は、車の進行方向に対して直角に使用すること。

充分な性能が発揮されず、生命に関わる重大な傷害を受けるおそれがあります。



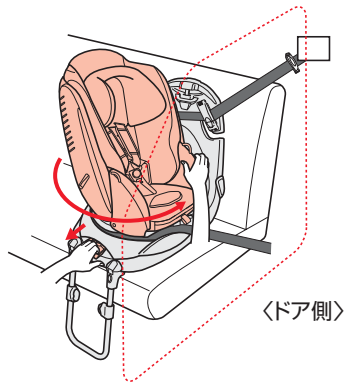
注意

・座面が車のドアトリムなどに干渉し、ドアを閉めることができない場合は、その座席で使用しない。

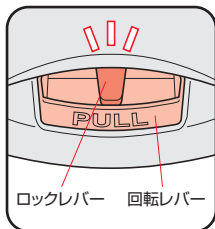


横向きベッドにする

- 1** ●本体正面が車のドア側に来るように回転させる。



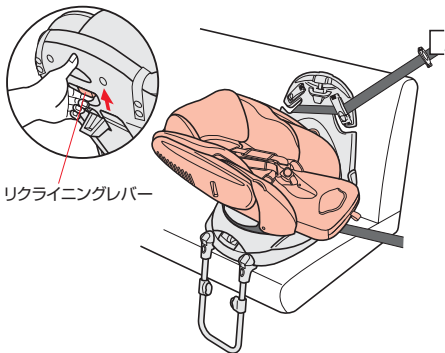
〈ドア側〉



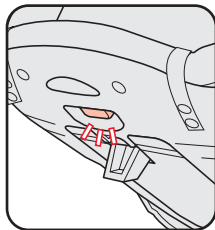
△ 注意

・回転後、ロックレバー、回転レバーが戻り、本体が固定されていること。

- 2** ●リクライニングレバーを引き、本体をベッドにする。



リクライニングレバー

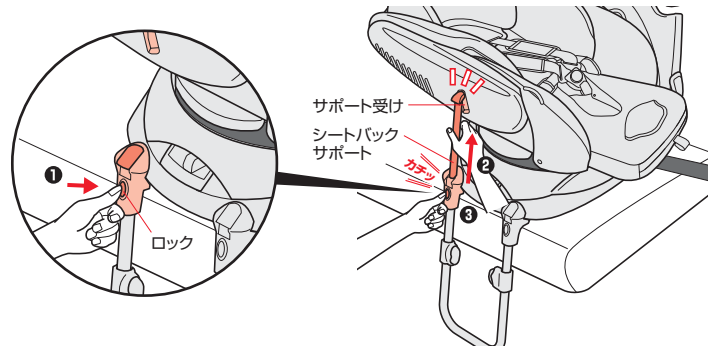


△ 警告

・操作後、リクライニングレバーが戻り、本体が固定されていること。
充分な性能が発揮されず、生命に関わる重大な傷害を受けるおそれがあります。

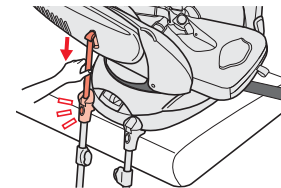
△ 注意 ・本体の背もたれとベースの間で指や手を挟まないよう注意してください。

- 3**
- ①シートバックサポートのロックを解除して、
 - ②シートバックサポートを引き伸ばし、サポート受けにセットする。
 (サポート受け側のみ)
 - ③「カチッ」と音が鳴り、ロックが掛かっていることを確認する。



確認

・シートバックサポートがサポート受けにセットされ、ロックが掛かっていること。

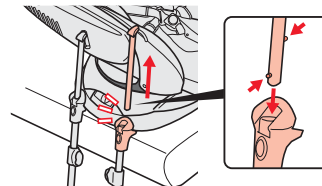


△ 危険

・シートバックサポートを取納した状態で使用しない。
充分な性能が発揮されず、生命に関わる重大な傷害を受けるおそれがあります。

△ 注意

・サポート受けが無い側のシートバックサポートを引き伸ばすと上部に抜ける場合があります。
 抜けた時は、パイプの表裏2カ所のピンを指で押した状態でレッグサポートに差し込み、取納してください。

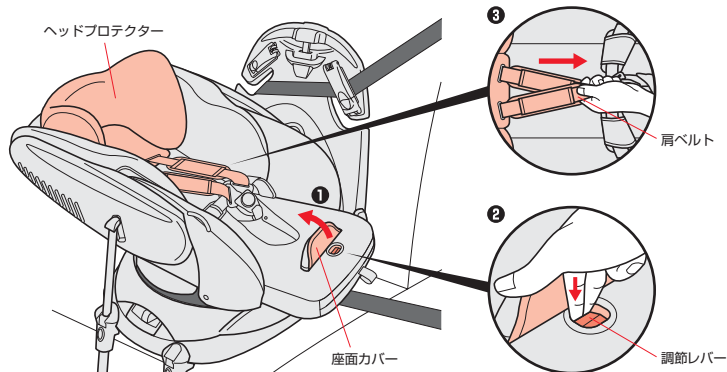


お子さまの乗せ方

・ヘッドプロテクターが取り付けられていること。

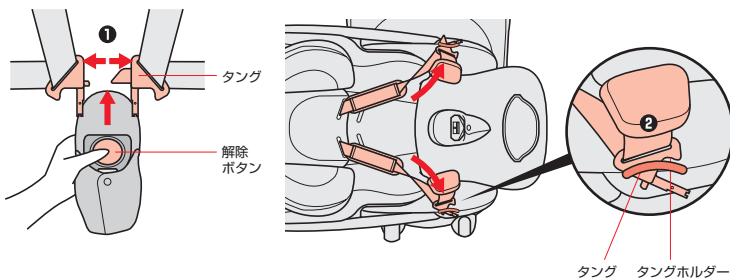
1

- ①座面カバーをめくり、
- ②調節レバーを押しながら、
- ③肩ベルトを引いて緩める。



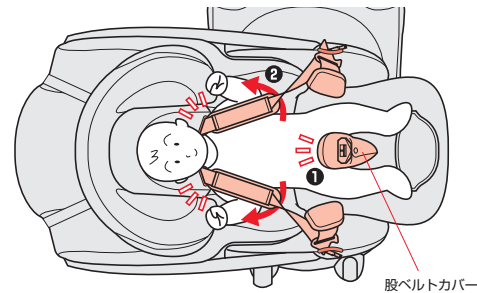
2

- ①バックルの解除ボタンを押し、タングを外す。
- ②左右のタングをタングホルダーにかける。



3

- ①お子さまの股間と股ベルトカバーが接するように寝かせる。
- ②お子さまの手を肩ベルトの下にくぐらせる。

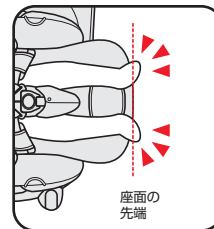
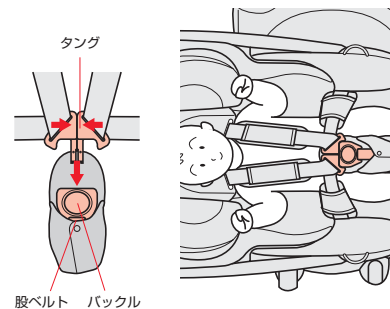


△注意

・肩ベルトの高さを確認する。(P25 参照)

4

- 左右のタングを組み合わせ、「カチッ」とバックルに固定されるまで差し込む。(P30 参照)



△警告

・お子さまの足が座面の先端から出る場合は横向きベッドで使用しない。

△注意

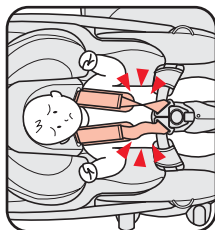
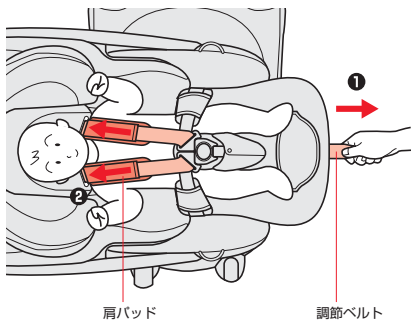
・タングをバックルに差し込む時は、指や手を挟まないよう注意してください。

☑確認

・タングは「カチッ」という音が確認できるまでしっかり差し込む。

5

- ①調節ベルトを引き、肩ベルトをしっかり締める。目安としては、お子さまの鎖骨と肩ベルトの間に指が1本入る程度までたるみを取ります。
- ②肩パッドを、一番上まで移動させる。



△警告

・肩ベルト、腰ベルトは、ねじれたり、緩んだ状態で使用しない。また、腰ベルトは骨盤上以外で着用しない。
 十分な性能が発揮されず、生命に関わる重大な傷害を受けるおそれがあります。

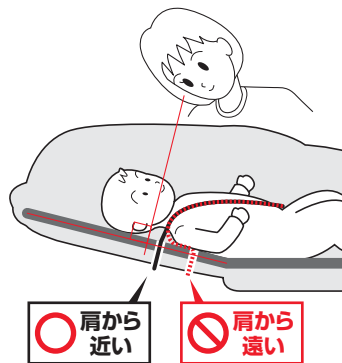
✓確認

・調節ベルトのホックがとまっていること。(P29 参照)

△注意

・肩ベルトの位置は、背もたれを垂直に見て、お子さまの肩から**近い位置**にする。
 (上でも下でも OK)

・4 段目、5 段目は使用しない。



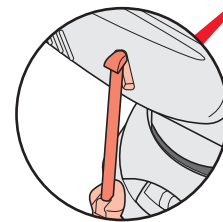
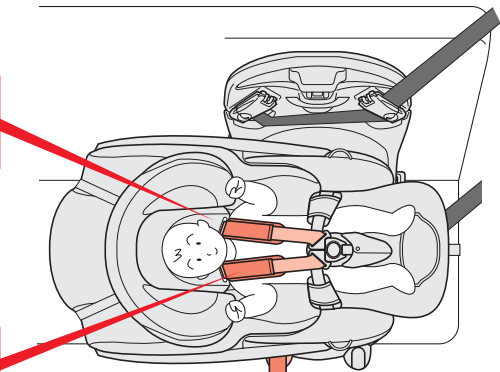
横向きベッド使用時の確認

・最後に次の項目を確認してください。

✓確認

肩ベルトが肩に近い位置 (0~2.5cm 以内) を通っている。

肩パッドが肩の上に合っている。

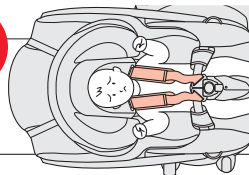


シートバックサポートがサポート受けにセットされている。

- ・正しくできていない場合は、もう一度 P37 ~ 41 の手順をやり直してください。
- ・車のシートベルトにお子さまを乗せる前と比べて大きな緩みがないこと。

△警告

・肩ベルト、腰ベルトは、ねじれたり、緩んだ状態で使用しない。また、腰ベルトは骨盤上以外で着用しない。
 十分な性能が発揮されず、生命に関わる重大な傷害を受けるおそれがあります。

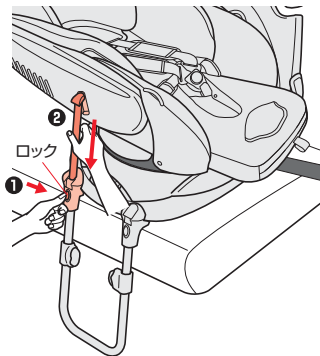


横向きベッドで乗せる時は

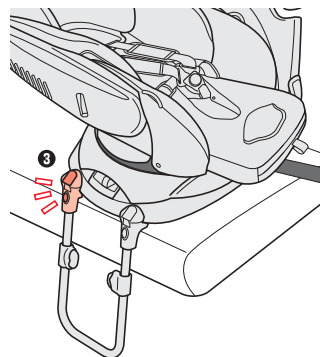
〈シートバックサポートを収納する時〉……………

△注意 ・リクライニングを起こす場合は、必ずシートバックサポートを収納すること。

- ①シートバックサポートのロックを解除して、
- ②シートバックサポートを収納する。



- ③シートバックサポートのロックが掛かっていること。



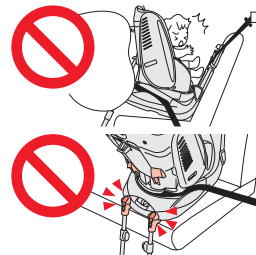
△危険 ・シートバックサポートを収納した状態で使用しない。
 充分な性能が発揮されず、生命に関わる重大な傷害を受けるおそれがあります。

後ろ向きで乗せる時は

〈体重：7kg以上10kg未満〉
 〈首と腰が安定し、一人すわりができるお子さま〉
 〈肩ベルト通し穴位置3・4段目を使用します。〉

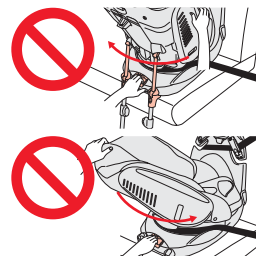
△危険

- ・SRSエアバッグが装備された座席で使用しない。
 衝突などの緊急時に、エアバッグの作動により重大な傷害を受けるおそれがあります。
- ・シートバックサポートを収納した状態で使用しない。
 衝突などの緊急時に、お子さまの安全を守るための機能が充分発揮できず生命に関わる重大な傷害を受けるおそれがあります。



△注意

- ・シートバックサポートをセットした状態で本体を回転させない。
- ・リクライニングを倒した状態で本体を回転させない。

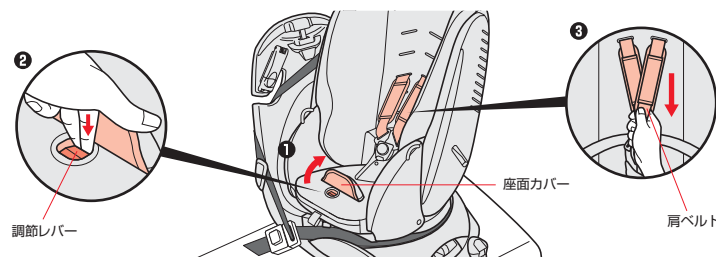


お子さまの乗せ方

・ヘッドプロテクター、腰パッドは使用しない。

1

- ①座面カバーをめくり、
- ②調節レバーを押しながら、
- ③肩ベルトを引いて緩める。

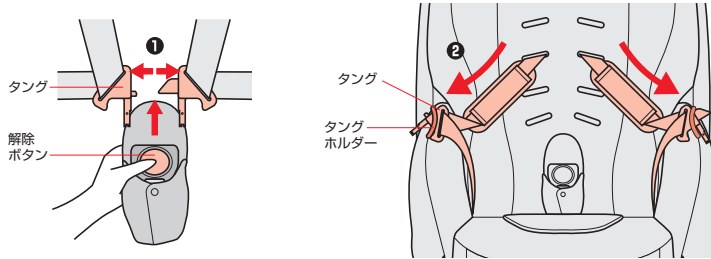


後ろ向きで乗せる時は

〈体重：7kg以上10kg未満 首と腰が安定し、一人すわりができるお子さま〉

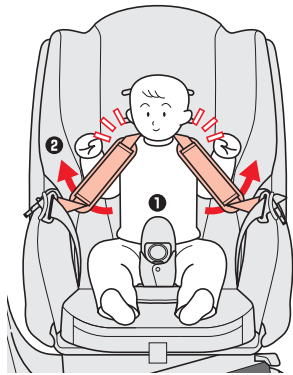
2

- ①バックルの解除ボタンを押し、タングを外す。
- ②左右のタングをタングホルダーにかける。



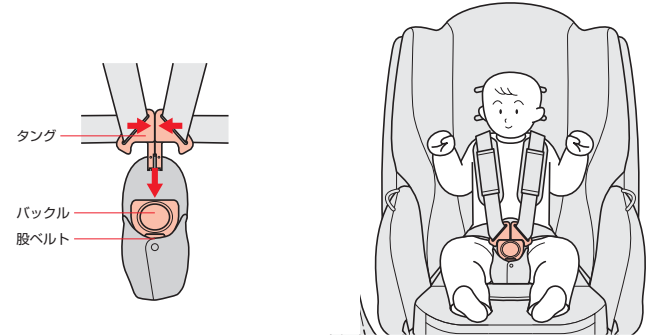
3

- ①お子さまを座席に深く座らせる。
- ②お子さまの手を肩ベルトの下にくぐらせる。



4

- 左右のタングを組み合わせ、「カチッ」とバックルに固定されるまで差し込む。(P30 参照)



⚠注意

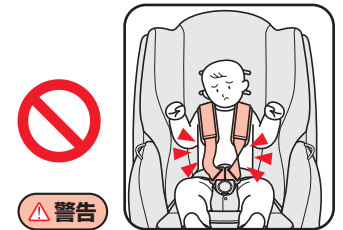
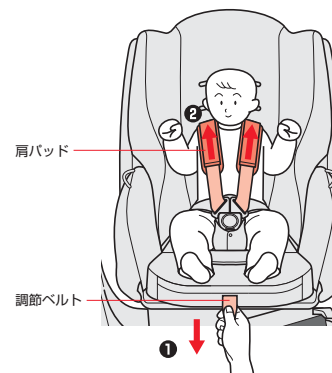
・タングをバックルに差し込む時は、指や手を挟まないよう注意してください。

☑確認

・タングは「カチッ」という音が確認できるまでしっかり差し込む。

5

- ①調節ベルトを引き、肩ベルトをしっかり締める。目安としては、お子さまの鎖骨と肩ベルトの間に指が1本入る程度までたるみを取ります。
- ②肩パッドを、一番上まで移動させる。



⚠警告

・肩ベルト、腰ベルトは、ねじれたり、緩んだ状態で使用しない。また、腰ベルトは骨盤上以外で着用しない。
 十分な性能が発揮されず、生命に関わる重大な傷害を受けるおそれがあります。

☑確認

・調節ベルトのホックがとまっていること。(P29 参照)

⚠注意

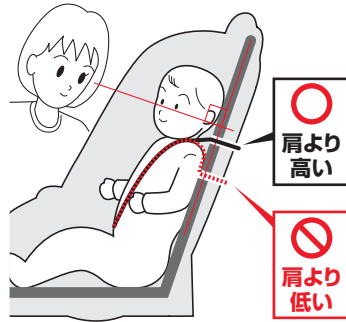
・肩ベルトの高さを確認する。(P25 参照)

後ろ向きで乗せる時は

〈体重：7kg以上10kg未満 首と腰が安定し、一人すわりができるお子さま〉

△注意

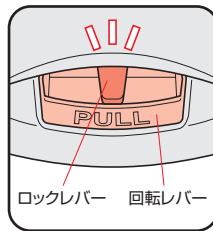
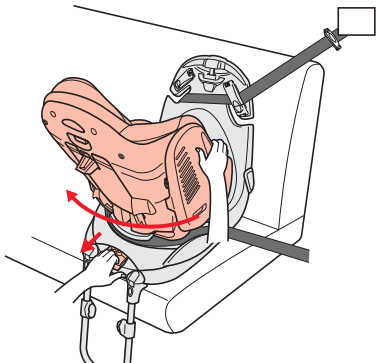
- ・肩ベルトの位置は、背もたれを垂直に見て、お子さまの肩より**高い位置にする。**
(0～5cm以内)
- ・1段目、2段目、5段目は使用しない。



後ろ向きにする

1

- 本体を後ろ向きに回転させる。



△注意

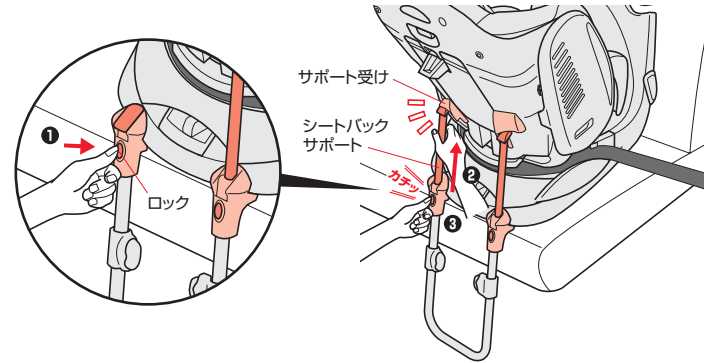
- ・回転後、ロックレバー、回転レバーが戻り、本体が固定されていること。

△注意

- ・お子さまを乗せた状態で回転させる時は、お子さまの手足を本体とベースの間などに挟まないよう注意してください。

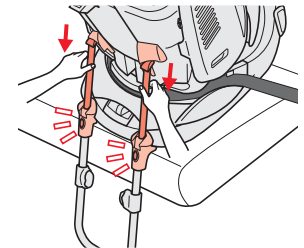
2

- ①シートバックサポートのロックを解除して、
- ②シートバックサポートを引き伸ばし、サポート受けにセットする。
(左右)
- ③「カチッ」と音が鳴り、ロックが掛かっていることを確認する。



☑確認

- ・シートバックサポートがサポート受けにセットされ、ロックが掛かっていること。

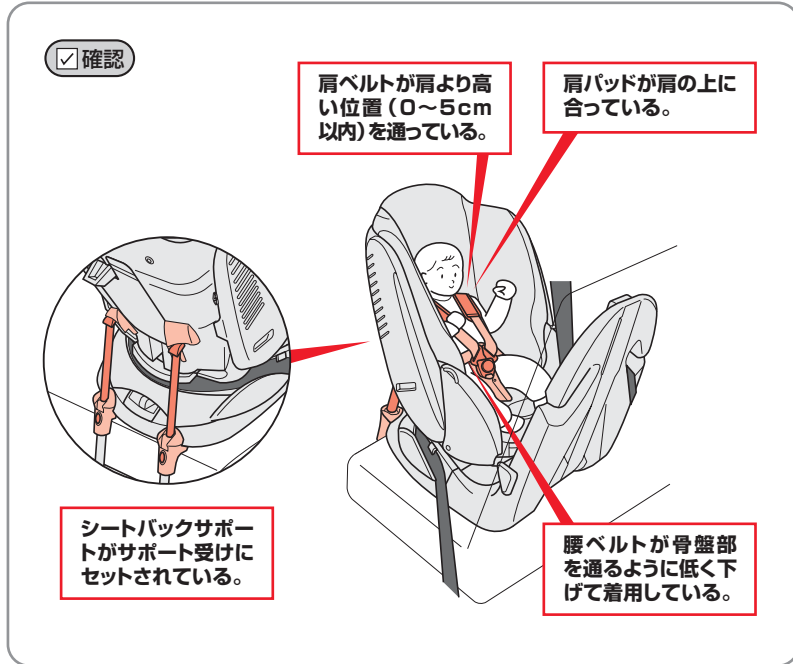


△危険

- ・シートバックサポートを収納した状態で使用しない。
充分な性能が発揮されず、生命に関わる重大な傷害を受けるおそれがあります。

後ろ向き使用時の確認

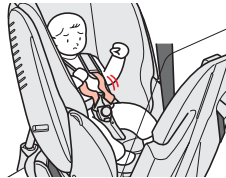
・最後に次の項目を確認してください。



- ・正しくできていない場合は、もう一度P44～48の手順をやり直してください。
- ・車のシートベルトにお子さまを乗せる前と比べて大きな緩みがないこと。

警告

・肩ベルト、腰ベルトは、ねじれたり、緩んだ状態で使用しない。また、腰ベルトは骨盤上以外で着用しない。十分な性能が発揮されず、生命に関わる重大な傷害を受けるおそれがあります。

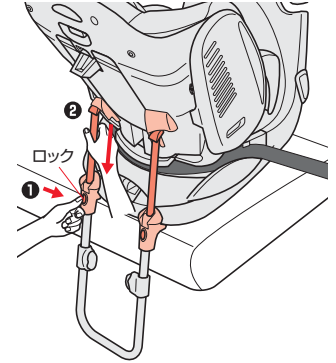


⚠注意 ・シートバックサポートをセットした状態で本体を回転させない。

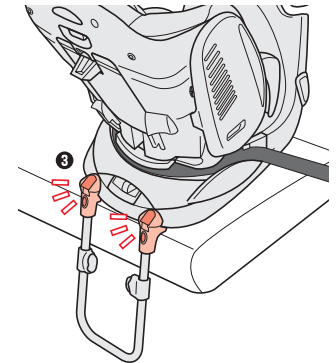
〈シートバックサポートを収納する時〉

⚠注意 ・本体を回転させる場合は、必ずシートバックサポートを収納すること。

- ①シートバックサポートのロックを解除して、
- ②シートバックサポートを収納する。(左右)



- ③シートバックサポートのロックが掛かっていること。



⚠危険 ・シートバックサポートを収納した状態で使用しない。十分な性能が発揮されず、生命に関わる重大な傷害を受けるおそれがあります。

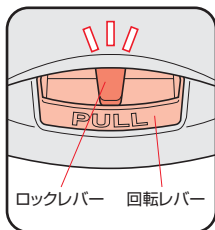
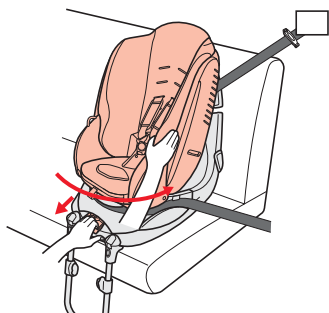
前向きで乗せる時は

〈体重：9kg以上18kg以下〉

〈体重：9kg以上18kg以下〉
〈肩ベルト通し穴位置3・4・5段目を使用します。〉

前向きにする

- 1** ●本体を前向きに回転させる。



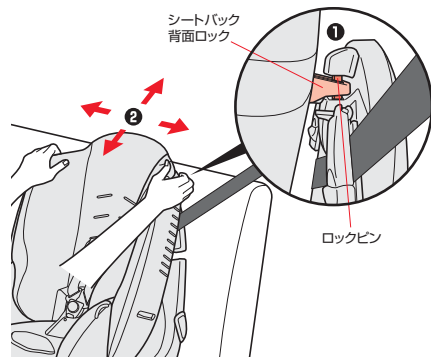
注意

・回転後、ロックレバー、回転レバーが戻り、本体が固定されていること。

注意 ・本体を回転させる時に、手、指などを挟まないように注意してください。

- 2** ●背面ロックが掛かっていること。

- 1 目視で確認。**
背面ロックのロックピンが入っていること。
2 手で動かして確認。
本体上部を前後左右に動かし、ロックされていること。



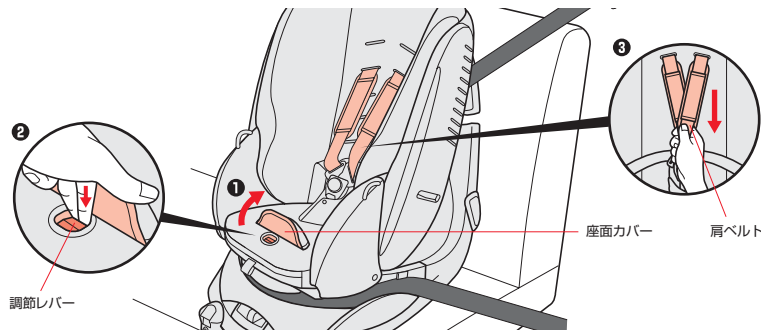
危険

・背面ロックが掛かっていない状態で使用しない。
充分な機能が発揮されず、生命に関わる重大な傷害を受けるおそれがあります。

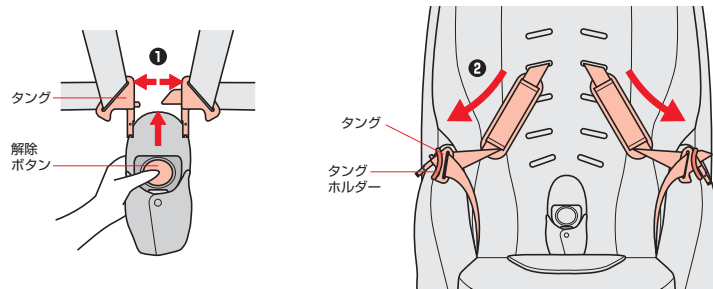
お子さまの乗せ方

・ヘッドプロテクター、腰パッドは使用できません。

- 1** **1**座面カバーをめくり、
2調節レバーを押しながら、
3肩ベルトを引いて緩める。

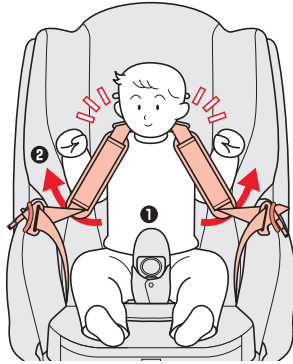


- 2** **1**バックルの解除ボタンを押し、タングを外す。
2左右のタングをタングホルダーにかける。



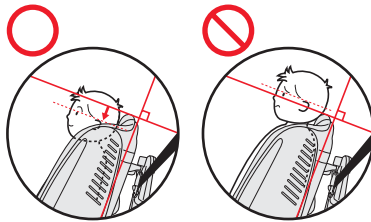
3

- ①お子さまを座席に深く座らせる。
- ②お子さまの手を肩ベルトの下にくぐらせる。



警告

・耳の上端部が本体の上端部より下になること。衝突などの緊急時に、お子さまの安全を守るための機能が充分発揮できず生命に関わる重大な傷害を受けるおそれがあります。

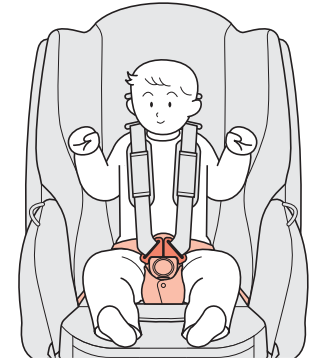
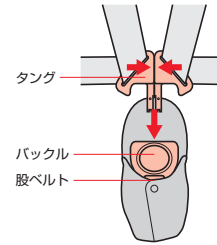


注意

・肩ベルトの高さを確認する。(P25 参照)

4

- 左右のタングを組み合わせ、「カチッ」とバックルに固定されるまで差し込む。(P30 参照)



注意

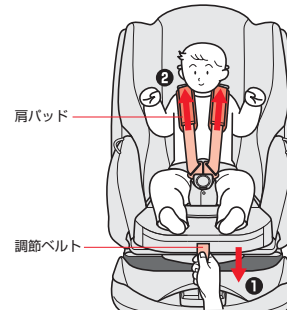
・タングをバックルに差し込む時は、指や手を挟まないよう注意してください。

確認

・タングは「カチッ」という音が確認できるまでしっかり差し込む。

5

- ①調節ベルトを引き、肩ベルトをしっかり締める。目安としては、お子さまの鎖骨と肩ベルトの間に指が1本入る程度までたるみを取ります。
- ②肩パッドを、一番上まで移動させる。



警告

・肩ベルト、腰ベルトは、ねじれたり、緩んだ状態で使用しない。また、腰ベルトは骨盤上以外で着用しない。充分な性能が発揮されず、生命に関わる重大な傷害を受けるおそれがあります。

確認

・調節ベルトのホックがとまっていること。(P29 参照)

△注意

- ・肩ベルトの位置は、背もたれを垂直に見て、お子さまの肩より**高い位置にする**。(0～5cm以内)
- ・1段目、2段目は使用しない。



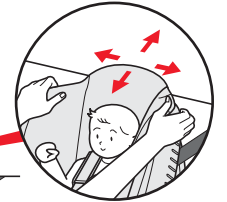
前向き使用時の確認

・最後に次の項目を確認してください。

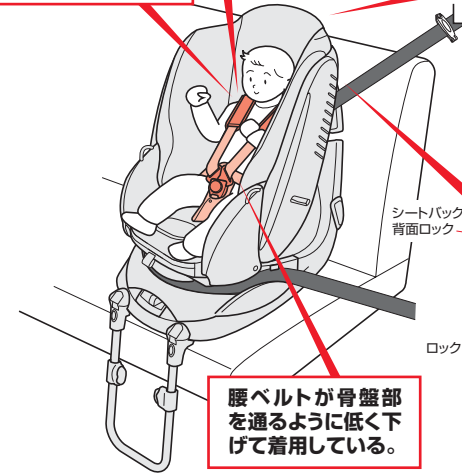
✓確認

肩ベルトが肩より高い位置(0～5cm以内)を通っている。

肩パッドが肩の上に合っている。



ロックされていることを手で動かして確認。



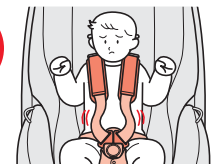
腰ベルトが骨盤部を通るように低く下げて着用している。

ロックピンが入っていることを目視で確認。

- ・正しくできていない場合は、もう一度P51～55の手順をやり直してください。
- ・車のシートベルトに、お子さまを乗せる前と比べて大きな緩みが無いこと。

△警告

・肩ベルト、腰ベルトは、ねじれたり、緩んだ状態で使用しない。また、腰ベルトは骨盤上以外で着用しない。十分な性能が発揮されず、生命に関わる重大な傷害を受けるおそれがあります。



△注意

・シートバックサポートは使用しない。必ず収納した状態でロックされていること。

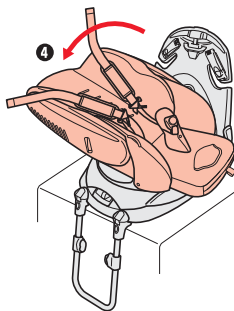
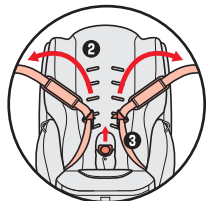
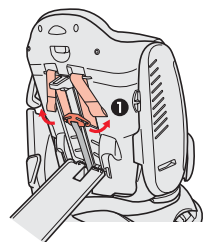
お手入れする時は

シートカバーの取り外し方

- ・準備の操作を行ってから、**①サイドカバー**（左右）、**②座面カバー**、**③背もたれカバー**の順に取り外します。
- ・シートカバーはクッションと共に取り外します。

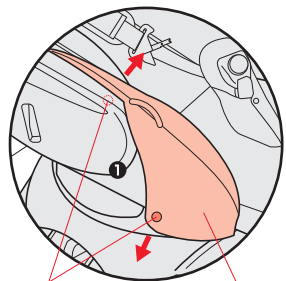
〈準備〉

- ①肩ベルトをジョイント金具から取り外す。(P26 参照)
- ②肩ベルトを背もたれから引き抜く。
- ③バックルの解除ボタンを押し、タングを外す。
- ④リクライニングをベッド状態まで倒す。

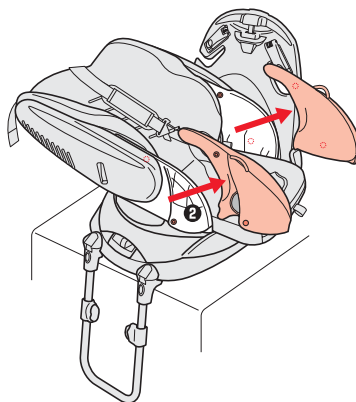


① 〈サイドカバー〉

- ①ホックを外す。(2カ所)
- ②サイドカバーを取り外す。(左右)

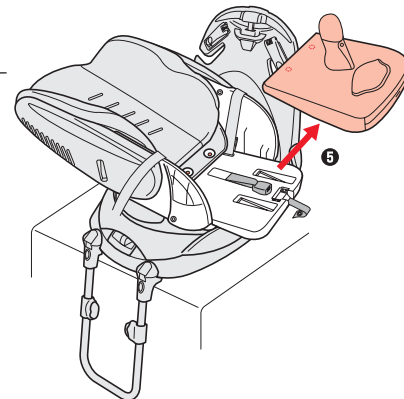
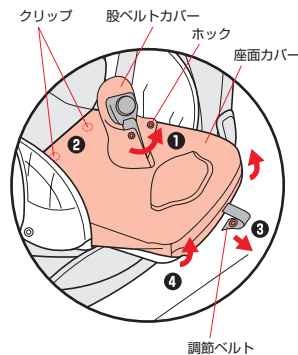


ホック サイドカバー



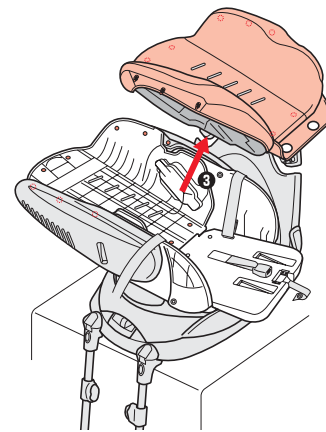
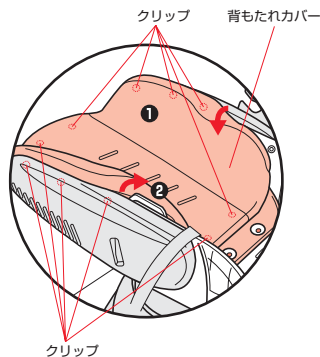
② 〈座面カバー〉

- ①股ベルトカバーのホックを外す。
- ②座面下のクリップを抜く。(2カ所)
- ③調節ベルトのホックを外す。
- ④前側のカバーをめくる。
- ⑤股ベルト、調節ベルトを抜き取り、座面カバーを取り外す。



③ 〈背もたれカバー〉

- ①クリップを抜く。(10カ所)
- ②横側のカバーをめくる。(左右)
- ③背もたれカバーを取り外す。



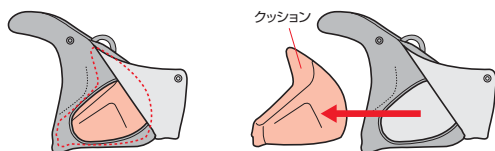
お手入れする時は

クッションの取り外し方

- 禁止** ・クッションは洗わない。
- ・クッションを取り外した状態で使用しない。

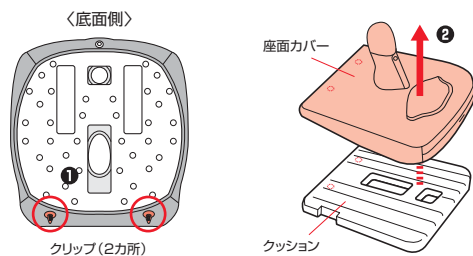
〈サイドカバー〉

- クッションをサイドカバー内側の穴から取り外す。(左右)



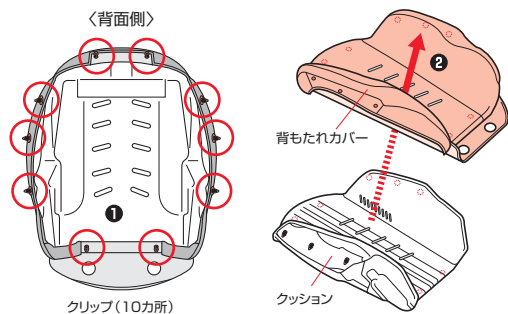
〈座面カバー〉

- 1 クリップを座面カバーのクリップ穴から抜く。(2カ所)
- 2 座面カバーをクッションから取り外す。



〈背もたれカバー〉

- 1 クリップを背もたれカバーのクリップ穴から抜く。(10カ所)
- 2 背もたれカバーをクッションから取り外す。

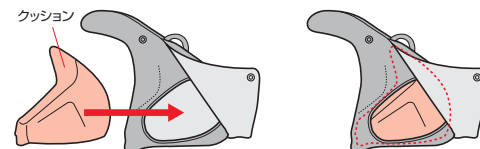


クッションの取り付け方

- 禁止** ・他のクッションと交換して使用しない。
- ・破れた状態で使用しない。

〈サイドカバー〉

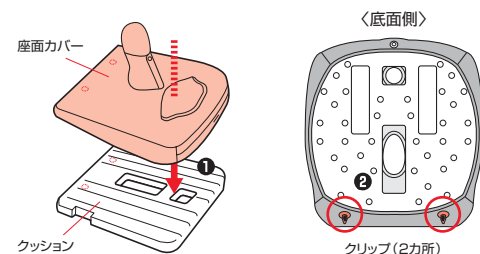
- クッションをサイドカバー内側の穴に取り付ける。(左右)



- 注意** ・クリップの挿入時に違和感がある時は、無理に押し込まず穴位置を確認する。
- ・クリップを斜めに押し込まない。

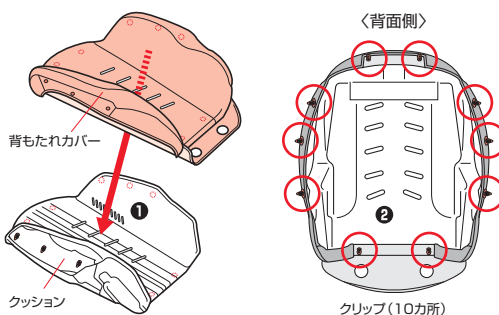
〈座面カバー〉

- 1 座面カバーをクッションにかぶせる。
- 2 クリップをクリップ穴に差し込む。(2カ所)



〈背もたれカバー〉

- 1 背もたれカバーをクッションにかぶせる。
- 2 クリップをクリップ穴に差し込む。(10カ所)

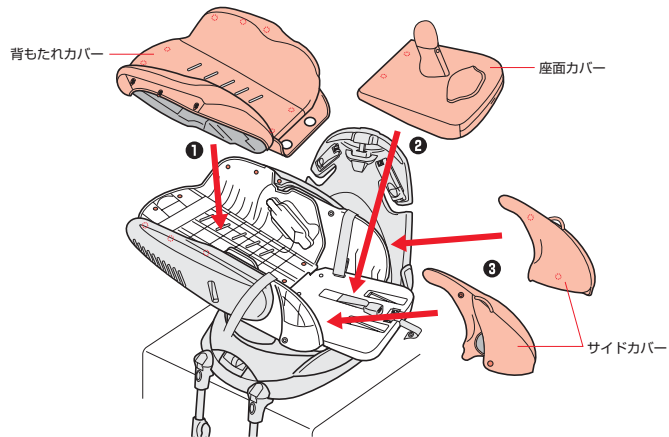


お手入れする時は

シートカバーの取り付け方

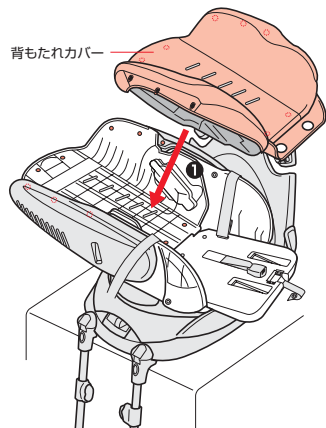
△注意 ・正しい取り付け方をしないと指挟みなどの原因となるおそれがあります。

1背もたれカバー、**2**座面カバー、**3**サイドカバー（左右）の順に取り付けます。

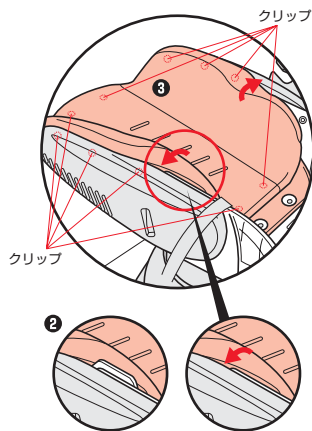


1 <背もたれカバー>

- ①背もたれカバーを本体背もたれに置く。
- ②横側のカバーをかぶせる。(左右)

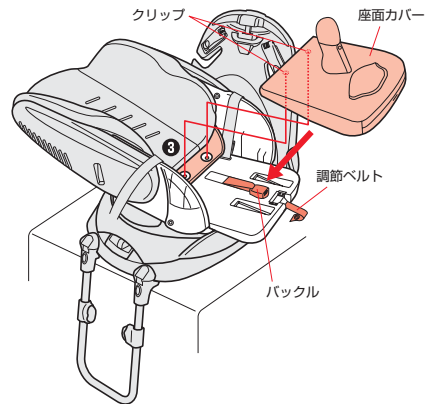


- ③クリップを背もたれの穴に差し込む。(10カ所)

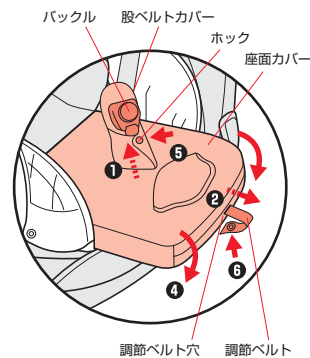


2 <座面カバー>

- ①バックルを股ベルトカバーに通す。
- ②調節ベルトを調節ベルト穴に通す。
- ③座面下のクリップを背もたれカバーの上から差し込む。(2カ所)

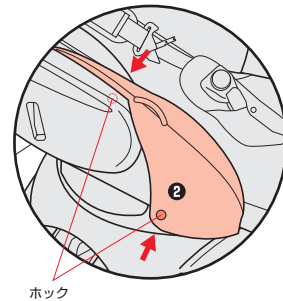
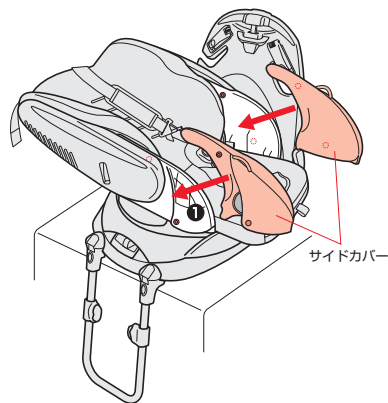


- ④前側のカバーをかぶせる。
- ⑤股ベルトカバーのホックをとめる。
- ⑥調節ベルトのホックをとめる。



3 <サイドカバー>

- ①サイドカバーを取り付ける。(左右)
- ②ホックをとめる。(2カ所)



✓確認 ・取り付け後、リクライニング操作をしても縫製品やクッションの浮きが無いこと。

お手入れする時は

シートカバーの洗濯



樹脂部分のお手入れ

〈ほこりなどを吸着した場合〉

- ・タオルなどで乾拭きしてください。

〈水溶性の汚れ（果汁、ヨダレ、オシッコなど）の場合〉

- ・40℃前後のお湯にタオルを浸し、軽く絞って拭き取ってください。

〈非水溶性の汚れ（牛乳、油脂、マヨネーズなど）の場合〉

- ・40℃前後のお湯に中性洗剤を溶かし、スポンジを浸し、軽く絞って汚れた部分を軽くこすります。その後、水又は温水にタオルを浸し、軽く絞って充分に中性洗剤を拭き取ってください。

- 禁止** 本体の洗浄にはシンナーなどの溶剤を使用しない。
(変色、変形、劣化のおそれがあります。)

保管する時は

- ・本体をポリ袋などに入れ、直接日光の当たらない、冷暗所に保管してください。

- 禁止** 屋外に放置し、雨などにさらさない。
(劣化などにより、十分な性能を発揮できないおそれがあります。)

廃棄する時は

- ・事故により処分する場合は、本品に「事故品」と油性ペンで目立つところに記入してください。
- ・地球環境のため、不要になった場合は、お住まいの各自自治体の指示にしたがい処分、廃棄してください。

保証について

保証期間とアフターサービス

- ・アフターサービスについて
ご使用中に故障などが発生したり、点検中に発見した場合、部品の交換または修理の必要が生じた場合、及びその他異常を感じた場合は、ご使用を中止し製品名・品番・ロット番号をご確認のうえお買い上げの販売店または、当社お客様サポートセンターまでご連絡ください。
- ・保証期間中（お買い上げ日より1年間です。）に部品の欠品、不良加工など当社の責任によるもの、取扱説明書や注意書きにしたがった正常な使用状態で故障した場合には、保証規定にもとづき無償修理を致します。
ただし、ご購入日より3年以上経過した製品についての修理はいたしますが、製品の修理箇所以外の品質の保証はいたしかねます。
(修理箇所の保証期間は1カ月です。)
また、製造中止後の製品については、修理必要部品の在庫がなくなった場合、修理が出来ないこともあります。
(部品の保有期間は、製造中止後3年間です。)

アフターサービスについての連絡先

アップリカ・チルドレンズプロダクツ株式会社

〈電話連絡先〉

お客様サポートセンター TEL 0120-415-814

受付時間：AM10：00～PM5：00（土、日、祝日、当社所定休日を除く）

〈製品をお送りいただく場合のみの宛先〉

〒632-0221 奈良県奈良市都祁白石町1397-1

アップリカ 奈良サービスセンター ☎(0743) 84-2050

〈ご使用前に困った時〉

お気づきの点	対処方法
梱包箱の内容物に不足や間違いがある。	販売店または当社お客様サポートセンターに連絡してください。 参照 P64「アフターサービスについての連絡先」
チャイルドシートをご使用になる車に、取り付け可能か判らない。	参照 P67「取り付け可能車種一覧表」 または、インターネットのアプリカホームページ「 http://www.Aprica.jp/ 」のチャイルドシート取り付け可能車種一覧表にご使用になる車の車種が有ることを確認してください。
車のどの座席に取り付けられれば良いのか判らない。	エアバックの有る助手席に取り付けることはできません。 また、車両後部座席(3列シートの車両の場合は2列目以降の座席)への取り付けをお奨めします。 参照 P7「座席の条件/座席の位置及び装備」
チャイルドシートをどの向き(横向き・後向き・前向き)で使えば良いか判らない。	お子さまの体重や成長に合わせて、お使いになる向きを決定してください。 参照 P6「使用条件」
本体が回転しない。	背もたれ背面の調節ベルトがベースに引っ掛かっている場合があります。座面側から調節ベルトを引き、たるみをなくしてください。
背面カバーが閉まらない。	背面カバーを閉じ、ツメにはめ込み、確実にロックしてください。 参照 P29「背面カバーを閉じる」

〈車への取り付けで困った時〉

お気づきの点	対処方法
シートベルトの“ねじれ”が取れない。	チャイルドシートを取り外し、車の取扱説明書に従って“ねじれ”を取り除いてください。 参照 P24「チャイルドシートの取り外し方」
	シートベルトのバックルにタンクを“ねじって”挿入していないか確認してください。 参照 P18「チャイルドシートの取り付け方」
シートベルトのゆるみやたるみが取れない。	取扱説明書に従い、本体を座席の背もたれに押しつけ、肩シートベルトを手前に強く引き、ゆるみやたるみをなくしてください。 参照 P19「チャイルドシートの取り付け方」
バックルのベルトに“たるみ”がある。	最後にタンクをバックルに差し込んでください。 参照 P22「バックル用ベルトが長く、ベルトに“たるみ”が生じる場合」

〈車への取り付けで困った時〉

お気づきの点	対処方法
チャイルドシートを、取扱説明書の通りに車の座席に取り付けてもグラグラする。	車体への取り付け方法を再度ご確認の上、もう一度初めから取り付け直してください。 参照 P16「チャイルドシートの取り付け方」 何度取り付けても固定できない場合は、チャイルドシートと車の座席がミスマッチの可能性があります。販売店または当社お客様サポートセンターに確認してください。 参照 P64「アフターサービスについての連絡先」

〈お子さまの乗せ方で困った時〉

お気づきの点	対処方法
肩ベルトを最も引き出した状態で、お子さまに肩ベルトを通してバックルにタンクが差し込めない。	肩ベルトの位置を確認してください。 参照 P25「肩ベルトの位置」 車内の温度を調節し、厚手の上着は脱がせてください。
肩ベルトとお子さまの適切なフィット感が判らない。	調節ベルトを引き、ベルトとお子さまの間隔が指1本入る程度まで締め込んでください。 参照 P41(横)、46(後ろ)、54(前)「お子さまの乗せ方」
肩ベルトの左右の張りに大きな差がある。	肩ベルト通し穴の位置が左右同じ高さになっているか確認してください。 参照 P25「肩ベルトの位置」
チャイルドシートのバックルにタンクが入らない。	タンクとバックルの間にバックルカバーなどを挟み込んでいないか確認してください。 参照 P30「タンク・バックルの使い方」 バックルにジュース、泥水、ゴミ、食べ物カスなどが入った為に解除ボタンが動かない場合は使用できません。 販売店または当社お客様サポートセンターに連絡してください。

〈中古品のご使用について〉

お気づきの点	対処方法
前の使用者の使用履歴が分からない。	使用状態が不明な製品をご使用になることはできません。特に事故歴の不明な場合はご使用になれません。
クラック(ひび割れ)や大きなキズ、留め金部の緩みなどがある。	ご使用になれません。 事故などにより強い衝撃が加わった可能性があります。

・解決しない場合は当社お客様サポートセンターに連絡してください。(P64参照)

取り付け可能車種一覧表

- ・このチャイルドシートは準汎用型であり、以下に記したシートポジションをもつ車種に適用します：
- ・本装置は、認可された車両がECE規則No.16または他の同等の基準で認可された自動車3点式/リトラクター付きシートベルトを装備している場合のみに適用しています。
- ・このチャイルドシートはフロントエアバッグが装備された助手席に使用できません。
- ・アプリカホームページ「<http://www.Aprica.jp/>」で最新版がご覧になれます。

記号凡例

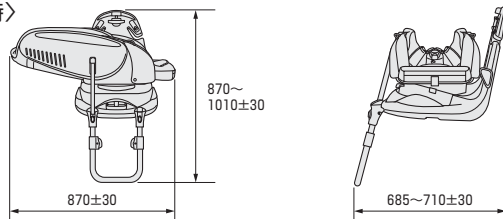
- ◎ 取り付けできます
※1 リクライニング・シートスライドなどを使用する事でお取付けが簡単になります。

メーカー名	車種名	年式	型式	調査座席	取り付け
トヨタ	アルファード	H14/5~	MNH1 #W系	2列目サイド	◎、※1
	エスティマ 7人乗り	H18/1~	GSR5 0W	2列目サイド	◎、※1
	カムリグラシア	H8/12~H11/8	V2 #系	後部サイド	◎
	マークX	H16/11~	GRX1 2 #系	後部サイド	◎
	ランドクルーザー (200)	H19/9~	UZJ2 0 0W	2列目サイド	◎
ニッサン	エルグランド 8人乗り	H14/5~	E5 1系	2列目サイド	◎
	セレナ 8人乗り	H17/5~	C2 5, NC2 5	2列目サイド	◎
	デュアリス	H19/5~	J1 0, NJ1 0	後部サイド	◎
ホンダ	ステップワゴン	H17/5~	RG1, 2	2列目サイド	◎、※1
	ステップワゴン (スパーダ)	H13/4~H17/5	RF3~8	2列目サイド	◎、※1
	ストリーム	H12/10~H18/6	RN1~5	2列目サイド	◎、※1
マツダ	デミオ	H19/7~	DE5FS, DE3FS, DE3AS	後部サイド	◎
三菱	ギャランフォルティス	H19/8~	CY4A	後部サイド	◎
	ランサーエボリューション (X)	H19/10~	CZ4A	後部サイド	◎
スバル	レガシー ワゴン	H15/5~	BP系	後部サイド	◎、※1
スズキ	ワゴンR	H19/5~	MH2 2S	後部サイド	◎、※1
ダイハツ	ミラ	H18/12~	L2 7 5S	後部サイド	◎

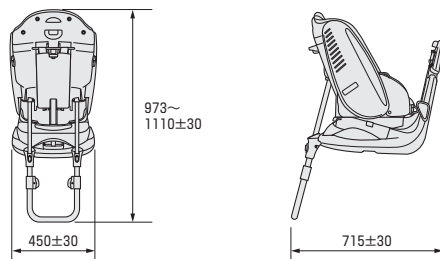
製品の仕様

レッグサポートの高さ：一番短い状態

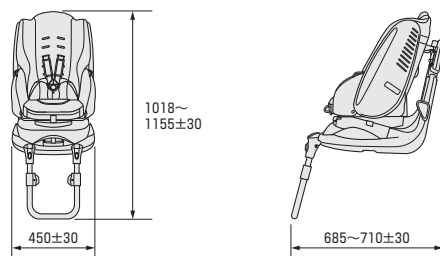
〈横向きベッド時〉



〈後ろ向き時〉



〈前向き時〉



(mm)

	高さ		幅	奥行き	
	最高値	最小値		最高値	最小値
横向きベッド時	1010±30	870±30	870±30	710±30	685±30
後ろ向き時	1110±30	973±30	450±30	715±30	
前向き時	1155±30	1018±30	450±30	710±30	685±30

商品重量	〈STD〉14.4kg 〈DX〉14.5kg 〈HIDX〉14.8kg (レッグサポート、プロテクター含む)
材質	樹脂部：ポリプロピレン
	シートクッション：ポリエチレン発泡・ポリウレタン発泡
	表生地：ポリエステル